京城日報

七日夕刊

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金六十五錢 三ヶ月金一圓九十錢 六ヶ月金三圓七十錢 一ヶ年金七圓三十錢
廣告料 ▲五號活字一行金二十錢 ▲三號活字同様 ▲欄内一行金五十錢 ▲定一行は二號活字の一行は五號活字の一行に付

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 松田收太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 編輯用 三二四五番 營業用 二二三番 振替口座京城一三〇〇番

○對露兵器供給契約調印

前年來露國政府と交渉中なりし兵器供給契約は今日迄懸案となり居たりしが此程に至り遂に契約の調印を見るに至れり其の内容は茲に詳報する能はざるも引受價格は約四千五百萬圓にして主として大阪砲兵工廠及び同地民間工場に於て製造せらるゝ筈なりと而して來年三月頃迄に全部露國に引渡す約定なるが如し猶東京に於て民營兵器場を急設し同所に於て引受くべき兵器契約は今猶懸案となり居れり(東京特電)

○在支外人の日米離間策

四川の北軍優勢なる結果

北京來電に據れば四川に於ける北軍優勢を占め來りたる結果在支外人等は頻りに日米の離間策を畫策し居れりと(東京電報)

○ヴェルダン戰鬪擴大

巴里來公報に曰く、ヴェルダン地方の戰鬪は之れまでドーモン村附近に限られ居たるが茲に其範圍擴大せられ敵は海蒂ボソオードアモンよりドーモン要塞に至る間の我戰線を頗る猛烈に攻撃したれども我一齊砲銃火の爲めに撃退せられたり尚ほムーズ東方及びモルトーム、コートド河の西方なる全戰線に亙りて砲撃終夜猛烈に繼續したり(紐育電報)

○土軍の連絡を中斷す

ヴアン地方全部を占領す

露都來電に曰く露軍は今やヴアン地方全部を占領し二方面に分れたる土耳古軍の連絡を中斷するに至れり(倫敦電報)

○又復英艦臨檢

上海沖サッドル島沖にて英艦又復我日本郵船の横濱上海間航路船筑前丸を臨檢し實彈の破片甲板に落下する等英艦の不法行爲明白なるものあり再三の我商船臨檢は延いて或は日英國際問題を惹起せん形勢あり(東京電報)

○選擧調査會

衆議院議員選擧法調査費は此程帝國議會を通過したるを以て内務省に於ては目下該調査會に提議すべき草案の作製中なるが同調査は總ての方面に亙らざるべからざるを以て其草案作成に少くも二、三箇月を要すべければ早くも六月末に至らざれば著手の運びに至らざるべし隨つて該調査會員の決定も五月下旬若くば六月上旬なるべく其人員は官吏側十名、兩院議員各十名宛計三十名にて官吏側にては最も關係深き内務司法兩省が正副參政官並に各局長各一名、帝國大學教授、法制局高等官、地方官等を以てし議員側は各派按分に依つて採るべしと(東京電報)

○立太子式

立太子式は十月三十一日天長節の佳辰を以て行はせらるゝ事に御治定遊ばされたりと漏れ承はる(東京電報)

○臺灣征討宮御銅像

臺灣總督府にては來る四月十日より五月五日迄閑院宮載仁親王殿下の御渡臺を仰ぎ領臺二十年記念共進會を行はせらるゝにつき目下之が準備中なるが同總督府にては臺灣征討大將軍たりし故北白川宮能久親王殿下の御銅像を建設する事に決し東京の國若天滿氏に委囑し既に大半竣成したるが右御像は高さ二丈の石構造にして陸軍大將の軍服を召させられし馬上の雄姿なりと承る(東京電報)

○陸軍大更迭説

陸相更迭と同時に新設朝鮮二個師團長の任命並に師團長以下の大更迭行はるべしとの説傳へらる(東京電報)

神武天皇二千五百年祭

畝傍山陵行幸啓

來る四月三日は神武天皇二千五百年祭に相當するに就き皇室祭祀令第十八條の明文に依り嚴肅なる御祭祀を行はせらるゝに就き 天皇皇后兩陛下には畝傍に行幸啓山陵に於て御親祭あらせらるべきを以て右行幸啓下檢分として原侍從上野宮内大臣秘書官は去る三日西園寺式部官は五日發同地に赴き十日頃歸京復命の上行幸啓仰せ出され同時に祭典御次第を御發表あらせらるゝ趣なるが同祭典は御式年祭なるを以て各皇族方を初め奉り大勳位國務大臣以下有爵者各官廳勅奏任官總代朝鮮貴族其他總代諸團參列著床すべければ御陵前の幄舍建築其他の諸設備も非常に大規模のものなりと承はる(東京)

○讓渡の三軍艦

丹後相模、宗谷

舞鶴に於ける當局者は語りて曰く今回我國より露國に讓渡すべき丹後相模、宗谷の三艦受領の爲には同國海軍中佐ワシヤリタルク氏來朝したるが右三艦の讓渡しに關し議會にて種々の質問出でたるも三艦は既に我國の手に歸してより十年餘りを經今二三年にして何れも老朽艦となるものなり此老朽艦一隻の價格五百萬圓と見積り三艦合して千五百萬圓なる此金額を以て更に新鋭なる軍艦一隻乃至二隻を建造するとせば却つて帝國海軍に新なる勢力を增す所以にして決して憂ふべきにあらず殊に之れによりて日露親善の程度を一層親密ならしむることを得ば將來我國の利益尠からざるべしと信ず、引渡日時並びに其場所に就ては全然秘密に屬し其詳細を知り難し其武裝解除の如きも恐らく火藥庫、無線電信、水雷發射管等を取外す位ひに止まり他は有姿の儘なるべし(大阪電報)

○航空隊獨立

海軍航空隊獨立設置

三十七議會通過豫算にて四月一日より海軍航空隊獨立設置を決定せり(東京電報)

○朝鮮師團編入兵

來る四月一日朝鮮駐箚第二十師團へ第十師團(姫路)より一箇大隊編入の事に決定し四月に輸送を開始せらるべしと(大阪電報)

○關門海峽改修

東京來電に據れば内務省の直轄工事たる關門海峽工事は去る四十三年度より航路浚渫、土砂浚渫工事、消地浚渫、擴張、航路改良等の調査に着手せるも衞來行政整理にて豫算不成立の爲め該工事進行する能はざりしが内務省にては愈々大正五年度より總工費八百萬圓を以て八年間繼續事業として其の内設計に基き工事の進捗を計る方針なりと(門司電報)

○安東總督

安東經由總督夫妻一行七日午後郵船信濃丸にて門司著同午後四時出帆歸任の途に就けり(門司特電)

○佃理事

佃滿鐵理事は豫定の如く會議の爲め東上の途七日午前大連より入港の臺南丸にて門司著同午後七時十分發鐵路出發す(門司特電)

○總督苗圃視察

寺内總督は白井武官及び池邊秘書官を隨へ四日午後二時自働車を驅りて東大門外約六里を距る光陵に赴き農林試驗所苗圃其他一里餘の場所を徒歩にて視察し同日午後五時歸邸せり

○總督邸晩餐會

新任平壤覆審法院長島山氏新任釜山地方法院長鈴木氏新任京城地方法院長岩本氏並に松村侍從武官を主賓として八日午後七時より總督官邸に於て晩餐會を開き各部長官陪席すべしと

○松村侍從武官一行

松村慰問使の一行は四日南大門驛發元山に向ひ六日永興灣なる防備隊を慰問したる上七日午前九時元山發同午後五時三十二分南大門著にて再び入京す可しと

○首藤旅團長

南鮮方面視察中なりし平壤駐箚第六旅團長陸軍少將首藤多喜馬氏は六日夜南大門通過歸任したり

○豐邊騎兵監

駐箚軍騎兵隊檢閲の爲め北鮮巡閲中の陸軍中將豐邊騎兵監は十三日午後五時二十二分南大門著十五日は龍山なる騎兵中隊の檢閲を爲す筈なりと

○陸軍記念日招待狀

來る十日の陸軍記念日に駐箚軍にては祝賀會を催す事例年の如くなるが其の前後徐雨等もあり頗る盛況を極むべきが七日京城の官民約二千名に對し招待狀を發送せりと

○春季釋奠擧行

經學院に於ては例年により來る十一日(陰曆十二日とありしは誤り)午前九時より春季釋奠を擧行し終つて經學院講士李提擧の經學講演あるべしと

○鐵道時刻改正見合

昨年開會の第三回日支聯絡運輸會議に於て決議せし如く東清鐵道の列車運轉時刻改正に伴ひ日支聯絡運輸參加機關にては各運輸機關代表者會合して適當なる新時刻を編成する豫定なりしが本年は京奉、南滿共に時刻改正を爲さゞる意向にて隨つて其會合も見合はす事となれり

○定例長官會議

七日午前十時より定例長官會議を開會し寺内總督以下各部長官出席所管事務に就き打合はす所あり正午散會せり

○鐵道建設會議延期

七日より開會の筈なりし鐵道局各建設事務所長會議(大正五年度施行工事計畫其他附議)は都合に依り中旬頃に延期せられたり

○醫專生徒募集

内地人二十五名 本年初めての施設

總督府にては今回朝鮮總督府醫院附屬醫學講習所の組織を變更して來る四月一日より醫學專門學校と爲し從來募集し居れる朝鮮人の外に内地人生徒二十五名を左記要項により募集す可き旨七日發表されたり、朝鮮人の入學志願者即ち高等普通學校卒業者並に之と同等以上の有資格者に對する募集に付ては既に官報所載の如くなるが今内地人應募者のため手續の概要を摘記すれば

▲入學の資格 年齡十七年以上にして中學校の課程を卒へたるもの又は之と同等以上の學力ある者とし所定の體格檢査に合格せる者なりとす而して其入學者は先づ朝鮮總督府中學校の卒業者より採擇し更に應募者が募集人員を超過したる場合にありては中學校卒業と同程度により三月三十日、三十一日の兩日午前九時より總督府醫院内醫學講習所に於て國語、漢文、數學、物理化學の各科目に就き選拔試驗を擧行すべし

▲入學の手續 志願者は現住所、年齡、學歷等を記載したる履歷書に卒業證明書を添へ三月廿五日限り醫學講習所宛直接提出すべく期日後は斷然受付けずと云ふ斯く修業年限四箇年の全課程を卒へたる者に對しては朝鮮内に於て何等の試驗を用ひず直ちに醫師たるの免許狀を受くることを得べしと尚ほ詳細に就ては同所に就き直接承合すべし

○頭本元貞氏の新事業

前ジヤパン、プレス社長頭本元貞氏はかねて英文雜誌の發行を企て居りしが此程漸く其準備成りしを以て愈々本月十八日東京に於て其の初號を創刊し爾後土曜日毎に發行する旨を發表したり同誌はゼ、ヘラルド、オブ、アジアと題し、重要事項の記事論評、支那諸邦に關する記事論評の他、日本其他東洋諸國の新聞雜誌の記事論文、南洋諸邦に關する重要なる記事論文、中外邦人讀者にとりては本誌を掲載すべければ他に多數の海外新聞雜誌を講讀するの要なく至極便利なるべし

仁川

▲仁川商工名鑑發行 仁川商業會議所にては仁川に於ける商工業の發達沿革現狀及び代表的人物を汎く社會に紹介する目的を以て今回商工名鑑を發行する事となり愈々編纂に著手せり

▲仁川藥種社創立 仁川有志者の發起に掛る會社は或る條件の下に創立する事となりたるが其資本金は五千圓にして一株五十圓總株數百株とし今回は第一回として十二圓五十錢拂込みたるに已に其創立總會を開催し入社役員の選擧を行ひたるに社長に高津氏、業務擔當社員に富田氏相談役は三宅、永井、林田、八阪、小野、堀原の六氏當選し殘株數株は京城藥種商社に於て引受くる筈なりと

大邱

▲水道附屬工事 大邱府經營の水道工事は目下著々其の歩を進めつゝあるが其の附屬工事としては配水地事務所及び倉庫を請負建築に付し既に二月中旬より起工し漸次進捗し來りたるが四月中旬には竣工の豫定なりと

▲農事と鮮人間の風評 慶山地方の鮮人間には本年度に於ける一般農事の前途を杞憂しつゝある者多數なるが其の言ふ所に據れば麥は冬季に枯葉し後更に發芽するを豐年の兆とするが本年の如く凍害を受けず青色を呈し越年せるは凶作の前兆にて過る丙辰年(今より六十年前)に大洪水ありて田畑は大部分流失し細民は饑餓に迫りし實例ありて本年は恰も其の年柄に相當するを以て稻作等も定めし蟲害を蒙り秋穫は平年作を下るべしと愚にも付かざる憂惧を抱き前途を悲觀しつゝありと

▲租税及驛屯賭 租税及び驛屯賭收入狀況に於ける二月末日現在は▲租税調定額一七、七三六六にして▲收入累計一〇二、九〇七▲收入歩合八七四四なるが前回に比し減差あるは各郡に於ける納税者別既に位置計算上の不定額報告に基き減額したるに依る

▲大邱測候所移轉 大邱測候所は從來其位置本町一丁目の低地に在りて設備の不完全なると氣象觀測に適せざりし爲め德山町の丘陵に移し本年一月新築廳舍竣成し今回移轉と共に觀測設備に改善を加へたるが去る五日官民有志を招待し氣象觀測狀況の一斑を縱覽せしめ茶菓を饗し披露會を催したり

▲今井理事出張 大邱穀物組合理事今井淺延氏は穀物檢査狀況視察並に立風方面に於ける檢査開始の要否調査の爲め五日開浦出張所に向け出發せり

▲宇木獸醫部長來邱 駐箚軍獸醫部長宇木素絢氏は軍馬狀況視察の爲め七日來邱九日歸龍せり

▲常松畜産技手出張 同氏は全羅南北道の畜産狀況視察の爲め八日出張せり

釜山

▲弘濟丸より 鯨洋生

悲報に接し蒼皇京城を出發仕候途中愁傷殆んど半眠にて大田迄參り候處折柄知友大石工學士の日本行と邂逅致し聊か談笑し得たるは非常なる幸福と存じ候南進に從て積雪多く四顧の山岳白皚々、釜山に至れば曇天少雪霏々として更に愁愁を深からしめ申候敬具(三月五日)

▲下關より 曇天なりしも波浪頗る靜穩、船客例よりも多し午前八時下關著豫定なりしに、追手風の爲か約一時間早く著關、天氣猶ほ晴れず海風寒くして顏を刺す、群鷗海上を去來する樣は、何となく氣持ちよし、九時五十分發直に大阪に向ふ、内地の氣候は思ひしよりも寒し(六日)

○京都より○

御所の拜觀圖は鐵道院の割引が十日までゝ云ふので昨今の增加は甚だしい四日の如きは降雨にも拘らず諸方より入洛するものが頗る多く九州邊から團體の觀覽が二十名午前十時頃に入洛し降雨の大雨の下まで走り一本五十錢で傘を十數本買ひ一同で御所に向ふたなどは振つて居つた、伏見の梅は今が滿開である、到る處芳香馥郁として偵眼に入るの思がある、殊に一目千本の如きは、眼界に展開する城南都市の山河を背景に四國一面花を以て埋まり、美觀は譬へやうがない四日の土曜、五日の日曜は最も見頃であつた(五日)

人事消息

▲定田孝雄氏(土木局技師) 大阪の出張先より五日歸任

▲立柄殷使氏(編輯官) 五日南滿洲へ出張

▲山口貞昌氏(法務課長) 五日歸任

▲齋藤金助氏(囑託) 五日新義州及滿州へ出張

▲富永正義氏(技師) 五日釜山及公州へ出張

▲田中邦三氏(事務官) 八日平安南北へ出張

▲加藤正賴氏(鐵道局經理課長參事) 六日内地より歸任

▲京城駐在米國領事ニフー氏 六日軍艦より歸京

▲伊藤少將(平壤駐箚第三十六旅團長) 七日夜九時太田より平壤に向け南大門驛を通過

▲鎌田二等主計(憲兵隊司令部附) 七日著任

▲牧山耕藏氏(朝鮮公論社長) 七日夜南大門驛著歸京

聞慶

▲組合規程改正申請 慶北聞慶學校組合にては從來の管理者報酬規程は同組合成立前に於ける在留民總代の年手當金を基準とし之と同額に協議決定したるものなりしが組合成立後諸般の事務を管掌する今日の管理者は到底以前の如き閑職に非ざると同時に之に伴ふ自辨費を要する事多大なるを以て其の缺を補ふの意を表せんとて前年度に許可を得たる報酬規程にては適當せざるに依り修正を加へたるものなりと

▲聞慶學校組合 慶北聞慶學校組合にては過日同組合歲入出豫算を議決したるが歲入豫算一千三十六圓經常部豫算一千三十六圓臨時部豫算差引殘金無し

釜山

▲水産物水揚高 釜山水產會社二月中水揚高は四萬七千六百零六圓三十八錢數量四萬六千八百八十貫にして漁獲の重なるは魚はさわら、ひらめ、ぼら、鯛、ふぐ等にして二月中は平年に比し二割三歩強の不漁に當り居れ共市價は平均高價なりしを以て數量に比すれば水揚高の成績良好を示し一日入船平均八十隻なり

▲商議臨時總會 釜山商業會議所にては六日午後一時より同三階樓上に於て臨時總會を開きたるが釜山輸入商組合建議の商工俱樂部設備の件は目下使用中の假事務所を一千二百圓にて改築し一般商工業者の利便に供する事に決す其他現在の經費に引繼く事に決定す尚ほ現書記長以下吏員に對する慰勞金及び特別賞與金を給する件につき協議せり

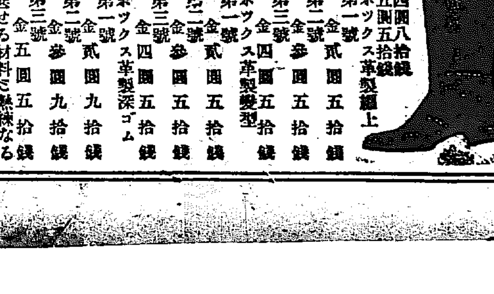
▲學校組合豫算會 釜山學校組合は大正五年度の組合費歲入出豫算其他の附議の爲め六日午後一時より釜山府廳樓上に於て開會せり

縣知事候補八千人

北京では此一兩年の間に四回縣知事登庸試驗が行はれ▲其の資格者が製造せられたのみならず▲中央地方文武長官の保薦知事と云ふのもざつとあつて▲今日では縣知事の候補者無慮七八千人にも及んで居る▲これ等の候補者は分發と云つてそれ／＼中央から各省に割當てられるのであるが▲今日迄奉天省に分發せられた數は五百餘人に上つて居る▲ところが此連中のアテにして居る椅子は▲縣知事の五十六と税局長の三十餘と併せて僅か九十程しかないばかりでなく／＼これがまた容易に空きが無いので候補者連中宿代の催促に作官發財の夢を破られ▲まだならぬ前から官途の崎嶇を嘆じて居るとはあはれな話である▲如何に猶韓時代に酷く似て居るでは無いか

信用ある東京三金の特賣

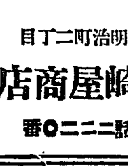
ボックスタツク製 長靴 長サ一尺三寸 金四圓八拾錢 一尺五寸 金五圓五拾錢



ボックス革製編上 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製變型 第一號 金貳圓五拾錢 第二號 金參圓五拾錢 第三號 金四圓五拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金五圓五拾錢

右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適なり
▽御注文の節は靴種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包(送料實費)にて送附す
最新目錄無代進呈
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九〇 振替東京一七一二三番

寫眞機 寫眞材料



京城明治町二丁目 長崎屋商店 電話二二〇番

告 京城分會員

來ル十日親閲記念綬授與式擧行同時ニ陸軍記念日ヲ祝スルタメ同日正午龍山練兵場會旗ノ許ニ集合アレ
帝國在郷軍人會 京城分會

商業登記公告

支店設置 商號山田合名會社本店大阪市東區南久太郎町貳丁目九番屋敷支店東京市神田區永富町貳拾番地、京都市下京區新町通蛸藥師下ル百足屋町參百七拾九番地、京城府漢江通六番地、目的染料、工業用品賣買、設立年月日大正四年六月拾七日、社員ノ氏名住所出資ノ種類及價格大阪市東區南久太郎町貳丁目九番屋數金五萬圓山田市郎兵衞、同所金貳拾五萬圓山田市治郎、同所金拾萬圓山田藤次郎、大阪市南區天王寺悲田院町參千八百貳拾九番地ノ四金拾萬圓山田岸太郎、朝鮮ニ於ケル代表者ノ氏名住所、京城府漢江通六番地山田鑑太郎存立ノ時期滿五拾ケ年

株式會社漢城銀行ハ京畿道開城郡松都面南本町百五拾五番地ノ支店ヲ同所百五拾壹番地ト變更シタリ

右大正五年參月四日登記

土佐勸業合資會社ハ大正五年貳月貳拾貳日京城府南大門通貳丁目百拾七番地ノ支店ヲ廢止シタリ

右大正五年參月參日登記

商號新設 商號川西商店營業ノ種類乾物、雜穀、海産物、果實、荒物、鑵詰及漬物製造營業所京城府旭町壹丁目貳百貳番地、商號使用者ノ住所氏名同所建幷澄太郎

右大正五年參月六日登記

京城地方法院

商業登記公告

大阪市東區安土町貳丁目五拾壹番地[illegible]井喜三郎ハ株式會社共益社ノ取締役ニ當選大正五年貳月貳拾五日就任シタリ

右大正五年貳月貳拾九日登記

京城地方法院

京の野菜を召す

海老芋、獨活、茗荷、壬生菜、人參、筍

數日前宮內省より京都府に對し御料に供せらるべき蔬菜物の御用命ありたるが其品名を列擧すれば海老芋、獨活、茗荷、壬生菜、京胡蘿蔔、筍の六種類にして其數量は餘り多からざれども兎に角京都近在には何れも有名なる物のみなり右につき某當局の談を聞くに海老芋は紀伊郡の産出にかゝり其形狀海老に似きた

▽勾玉に類するより一名を勾玉芋とも呼

ぶ其味頗る良く洩れ承る所によれば今上陛下は特に其味を賞し給ひ嘗て山縣元帥の滯洛中にも陛下に御土産として其の中最も優良なるもの若干を買入れたることあり爾來其評判も一段と高まりたり獨活は南桑田郡吉川村若しくは篠村邊にて特に土を盛り肥料を選みて作るものなれば其出來の宜しきは勿論近來右里に近隣の地へも輸出され逐年聲價を高めつゝあるもの茗荷は紀伊郡の西部に點在する村落中にて

▽極寒の頃湧き出づる清水に菜を浸し

栽培其中に根を蔽せて芽を出さしむるものなれば其數量甚だ多からず殊に上流社會若しくは商賈の方の御料に供せらるゝを以て中流以下には實際のものを知るもの尠なし壬生菜は讀んで字の如く葛野郡壬生村の特産物にして市場にては水菜と稱し蔬質したるものゝ或は晩生のものを販し居れども今回御買上に相成るべきものは其最も早生のものに屬し是亦普通人には餘り多く知られざるものなり、京胡蘿蔔は紀伊郡地方にて盛んに作られ色はよき方にあらざれども其味の美なることは一寸他に類例なく僅かに京名物の一つなり、又筍は乙訓産のものにして

▽昨今猶は深さ一尺餘の土中に埋り

居るものを掘り起し長さ七八寸位のものを採取するなれば軟かくして其の味のよきことは實に天下一品ともいふべし、既に其名を知られ居る京都蔬菜の中にても就中優良にして且珍奇なるものゝみなれば是等の蔬菜物が臘の冴えたる大膳職の手により調理せられたる曉は眞に高貴の食膳に適するものとなるべきなり猶ほ又右御買上品は四日其數量及び價格の發表を見るべく而して嚴重に荷造りの上特別急行列車にて輸送せらるべし（大阪支局）

我憲兵馬賊を殪す

兇器全部を遺棄して逃走す

咸北の國境地方にては馬賊或は支那人強盜團出沒し爲めに該地方の富豪は其害を蒙ること尠からざるが咸北慶源郡慶源面雲洞崔東律は附近有數の財産家なるより二月二十九日午前零時半頃支那人強盜團の襲擊を蒙りたり賊は六名にして豆滿江の氷上を渡り來り被害者宅の臺所入口の扉を取外して室內に侵入し一名は

石油を浸したる綿を携へ來りて之に點火し一名

は就寢中なる東律の物置京與に拳銃を擬し朝鮮語にて金品の提供を脅迫し一方他の一名は麻繩を以て東律を縛り上げ他の一名は棍棒にて同人を毆打し一名は室內を搜索中江岸を巡察中の我が憲兵探知し之を逮捕せんと包圍したるに不敵にも賊等は**小銃及び拳銃を亂射して激しく抵抗**したるより憲兵も之に應戰し約十分間の後**一名を殪し一名は重傷を負ひ**死體及び提帶の支那步兵銃彈藥拳銃棍棒麻繩等を遺棄して一物をも強奪し得ず生き殘りたる者は對岸なる支那地に逃亡したり

飛行機海に墜つ

東京灣飛行機參加演習の椿事

橫須賀鎭守府にては二日未明より浦賀北條斷の海上を中心として東京灣に於て飛行機參加演習を擧行中なりしが三日午後一時三十分折柄觀音崎沖合の上空飛行中長峰大尉操縦三上中尉同乘のフ式ロ三號（ルノー式百馬力）は天候良好なりしも同所は恰も空氣稀薄にて氣流險惡なりし爲約六十米突の上空より沖合三浬の海上に墜落し機體及び搭乘の將校は海中に沒し僅に上翼の一部を認むるのみなりしを進行中の演習參加驅逐艦が發見救助せる爲め幸に兩將校無事なりしも機は滅茶々々に破壞したり一方此の椿事を追濱航空隊に急報し午後十時長浦造船部よりクレーンを現場に急派し飛行機を引揚げたる上造船部に廻送し十二時過ぎ漸く取片付を終りたり（東京）

●主人の衣類を　和歌山市新中通二丁目常時京城櫻井町二丁目居……一枚を横領し其他二三箇所にて窃盜及び詐欺をなす等手當り次第のこ……四日仁川支廳に於て懲役三月を宣告

……治の金を窃取したる被告事件は三月……

……敎授する方針であつたが今般此規則を改正し商業教育を授けんが爲に……

●乞食の行倒れ　京畿道漣川郡西面……程度である

●連絡船上陸客　六日午前釜山入港新羅丸一二等上陸客　山崎朋彦、西元名、原州長太郎、桐岡まつ、鈴木千代藏、同ひで、同信太郎、篠井幾次郎（三等二百二十六名）

▲六日午後釜山入港壹岐丸一二等上陸客……

天氣　北又は西の風晴れ　三月八日

春日　堤の上のアカシヤに（西小門外）

海軍秘密圖面紛失

橫須賀海軍工廠にて　目下憲兵隊活動

橫須賀海軍工廠石渡技手及び飯島忠の兩名は同工廠に屬する貴重なる秘密圖面を紛失したるが其關係重大なる意味あるものゝ如く目下憲兵隊に於て其行衛嚴探中也（東京電報）

大連地方では砂が降る

大連地方にては去る三日午前十一時頃より降砂あり午後一時半頃に至り最も甚しく太陽は帶青灰白色を呈し空氣は褐色を帶び雲形を識別し能はざるに至りたるが午後四時に至り全く止みたり原因は蒙古方面に低氣壓起り東に向つて北支那を通過したるものにて天津芝罘方面一帶は最も猛烈なりしと云ふ

京城能狂言會

滿場頤を解く

金澤能樂師の能狂言會は六日午後六時より京城ホテルに於て開催したるが定刻滿員の盛況にて石塚長官、渡邊法院長、松寺檢事正、鈴木關屋兩局長等も見受けられたり是術棒、蝸牛、六地藏、千鳥、三人片輪等土田角谷大隅三氏の妙技は滿場の頤を解き殊に友枝師の仕舞賀盛は上々の出來にて目出度く十一時閉會したり

稀しい大梵鐘

慶州奉德寺鐘樓の移轉

有名なる慶北慶州邑外鳳凰臺下にある奉德寺の大梵鐘は世に珍らしき品なれば總督府にては是を鐘樓の儘慶州保存會內に移轉せしめ永遠に保存せしむ可く五日飯島總督府技手出張七日より取崩し工事に着手せり

昇進五警視送別宴

二月廿九日附を以て警部より警視に昇進せる鍾路警察署勤務たりし林和一氏は木浦警察署長に總監部勤務たりし寺島才二郎氏は群山警察署長、鍾路警察署勤務朴喜鼎氏は咸南警務部勤務に警官練習所に勤務たりし張憲植氏は慶南警務部勤務に咸陽警察署勤務たりし安慶善氏は平安警務部勤務に任命あり不日任地に出發する筈に就き警務總監部、道警務部、警察關係の各有志者は右五氏の爲め八日午後六時より南山町京城ホテルに於て送別の宴を催す由

●賍品を買ふ　仁川港碇舶中の船員忠淸南道庇仁郡舍德面新里七統六戸申慶五（二）は二月廿七日海岸町斗揚場碇舶中の自己の船內に於て住所不定の林人近與泰より賍品たる情を知り綿布一反を代價二圓八十五錢といふ安價にて買收したる事發覺し仁川警察署へ檢事局へ送らる

朝鮮の婦人界

黎明の光に投げられた

七歳にして約婚　小女は財産だ!!

それは黎明の仄かなる光が東方遙かなる海の底から動き出でた時に四大を蔽ふ夜の闇黑が其の哀れむべき微かなる光を蹴つて居る樣に幾千年の長い間

▽內房（といふ小さな世界以外に知られなかつた朝鮮の寂しい女達）が我等の生活も今や一新されなければ成らぬと聲を嗄らして叫んで見てもそれは漸く波の上に漂ひ初めた黎明の光の如うに長い間の因習に養はれて居る彼等の周圍の人と物質とは夜の闇の如うに今新たに生れ出でた微かな叫びを一顧の價なき物の如うに睡棄して相手には爲ないされど大いなる夜の領は小さく幽かなり

▽黎明（に漸次押し狹められて行くが如くに此から後の朝鮮の）家庭にも社會にも漸次新教育を受けた新らしい女が古い陋習を打破して行く日が來るであらう、それは忌むべき呪ふべきものでは無く却つて讚美し助長すべきものであらう、夜の闇に馴れた目には光を嫌ひ曉明を呪ふかも知れぬがそれは單に

▽習慣（の上であつて誰しも一度美しい曉の明に住み慣れた者は知）つたならば其の幸福を感謝せずには居られまい、朝鮮の婦女界に秩序ある學制が施かれ文明教育が與へられる樣に爲つてから既に五年の星霜を經た新文明の教育を受けた女の家庭に這入つて居る者の數も亦決して少くは無い然るに

▽朝鮮（の家庭なり婦人界なりが一向にそれらしい運動を起した）て居らぬ此の社會は聊かも女子教育の反應を現呈して居らないのを見ると其の勢力の如何に微弱であるかと云ふ半面が證明せられるのではあるまいか現今新らしい教育を受けた女が如何なる風にして家庭の人と爲つて居るかと云ふ事を見るのも亦必要な事であるその前に

▽從來（朝鮮婦人なるものが家庭に於ける狀況を記して見る必要）がある朝鮮の女の極めて下級なるものは暫く別として中流以上の女にあると先づ生れ落ちて數月を經ると必ず其の親が自分の家相當、自分相應の家に對して婚約が結ばれる娘に生れた者は殆ど父母の膝下に在つてまだ温かな家庭の味を覺ゆるまでに至らない八九歳の頃になると早くも

▽他家（に嫁入らなければ爲らぬ此の七八歳迄の）子供時代の生活と云ふものも亦頗る荒涼極まる生活で有つて彼等は乳を離れると最早他人に這はす者として其の結納の額を算せられ殆ど兩親から物質扱ひに爲れそれのみならず極端に敬齒の弊を有する朝鮮では子供の人格は絶對に認められぬ例へ主人の子供でも召使の方が年長者であれば其權力に抗する事が能ないと云ふ奇習さへ有た（續）

借家研究（一）

□勤め人澤山

家作持は曉の星　殖ゑた官舍社宅

京城と言はず、釜山と言はず、朝鮮に住む人の間にはその住宅の問題で大分頭を惱ましてゐる其は多くの場合自身住宅を設計せずして住宅なしに

回店舖なりな借家

しようとするからである、しかしながら渾を追うて歩く遊牧の民の樣に轉々として居住定まりのない植民地では容易に住宅の建築などを企て得られるものではない、理屈はどうでもこれが爲庭でも造る樣に出來るものではない、そのために

回あらゆる階級を

通じて借家住ひをせねばならぬ事になる、ところがその貸家といふものが値段相當で、これならばいゝと思ふのがない、そこで此處に貸家問題を研究してみる事にした。京城の內地人の戸數が昨年十二月末の調べによると一萬六千九百三十三戸、先づザッと一萬七千と見てよからう、それでいろいろの公有建物、又は諸團體の家屋

回官廳、銀行會社等

の舍宅を除き、單に一箇人として生活を營なむでゐる人の家は幾何あるかといふに、之れを的確な數字で表はす事は出來ないけれども、假に一萬五千に二千と見れば甚だしい差はない、此の內商店にしても住宅にしても居住者

回自身の所有の家

といふのは三千戸に過ぎないと疑り、の一萬二千戸は貸家である、實に內地では何れの地方にも滅多に見られない數であるが、前記の樣な次第であつてみればこれも不思議のない次第である。市中の各所に可なり多く借家を有つてゐる

回森勝次氏が言ふ

ところによるとあの堂々たる商店が軒を並べてゐる本町通り、元の一丁目から新町入口の十丁目まで自分の持家に住んでゐるものは漸く一割位よりないといふ。以て一斑を知るべしである。昨今市中を歩いてみると著しく貸家が眼につく

回商店の櫛比して

ゐる本通りは然うでもないけれども、鳥渡した横町へ這入らうものなら、貸家札の横ッちよに貼られたる！、空家がよく目に付く。空家が多くある！、それは不景氣を表徵するものゝかつ決して然うではない、一體今日の此頃は人口に比べて貸家の數が多いのである

回今から四五年前

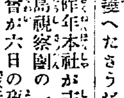
までは官舍、社宅といふものが非常に少なく役人銀行會社員その他の勤め人は奏任でも勅任でも但しは何れも民間の支店人といふ樣な人が何れも民間の人の所有してゐる貸家に住んだものだが近年になつて官舍社宅の新築が

回どしどし出來て

從來民間貸家に這入つてゐた者の多くはその方に移つてしまつた。その結果がこれ等の無暗矢鱈に造られた貸家が次第に不必要になる樣な事になつた。そこで勢ひ空家が多く生ずるに至つたのだが、それでも二三年前は情勢で

回貸家を建築する

者があつたが近來それが非常に減つた。現に貸家の四百戸も有つて、貸家業を專業にしてゐる三好和三郎氏の如きも昨年頃まで貸家の新築を忘れなかつたが今年からは絶對に新築はしない方針に變へたさうだ。



▲昨年本社が主催した靑島視察團の一週年記念會が六日の夜白水に開かれた▲昨今も月の始めから兎角天公の御機嫌斜めに傾いて空ッ風が吹き捲くるけれども昨年の此頃も昨今と同じく荒れに暴れて團員二百を乘せた咸鏡丸は全く海神の狂ふに委せて往復共散々な目に會つたのであつた▲此の行程約一週間留守居のものも心配すれば團員も心配する▲しかし又その內にも言ふに言はれぬ樂しいところがあつて此印象は一同の胸に非常に深く刻みこまれた▲その印象が今度の記念會で芽を出して來たのだから、その夜の宴會に集まつた者こそ三十名內外なれ、べらぼうに碎けた、そして痛快なものであつた▲先づ一通りの挨拶が濟むと當時一行中の年長者だつた白水の老人が紅白だんだら染の燕尾服に同じく紅白絹帽で飛び出す▲膳には當時團員のために何よりの御馳走だつた粥が出る、その內白水老人が咸鏡丸で使用した古瓶を持つて船のボーイの姿に扮し盛尻を提げて『お粥のお代りは要りませんか』と廻つて歩くと諸方から『ボーイお代り』『ボーイお代り！』といふ樣な苦しい聲を出す▲日清生命の林田君が落語をやる細井君が浪花節を唸る、或は堂々と立ち上つて當時靑島滯在中の惚氣話を始める者がある▲周る亂痴氣騷ぎを續けて十二時過ぎ散會した▲終りに此の會は毎年行らうといふに一決したのために朝鮮、日清生命、本社から美形十數人を櫻ビールから室內の裝飾、ビール飲み放題、廣江商會から煙草の寄贈のあつた事を記して置く

謹啓支部長杉井彦太郎二月二十二日付を以て轉任を命せられ其後任として主事鹽野谷平藏任命相成候に付不相變御引立の程奉願候　敬具

（外勤社員募集）

京城長谷川町九十一番地　帝國公債信託株式會社朝鮮支部　電話二五三四番　振替口座京城二〇一七番

文藝倶樂部　三月號（定價廿五錢稅二錢半）

▲諦威の旅…（戰塵瑣語）…柴田流星　▲お雛樣の變遷…川田好男　▲電車な掌の生活振…深海泡瀬

小說　湖北の家…江見水蔭　妻新之助…生田蝶介

▲演藝當座帳…鬼太郎　▲桃の節句と吉原…六丁愍　▲花柳界覺え帳…みはる

探偵小說　黑澤家の秘密…岡本綺堂　△五代目追善と六代目…竹の屋　△故中村仲藏の發風…背頭巾　△問題の名優顔合せ…旭光　△天活の猛進と活動館…岡鋼笠　△連鎖流行純劇壓迫…西男　△花柳萬端懷中の小菊

講談　老の咲大前田…柴田馨

東京本所　博文館

コドモかぜ、ねつ藥　オイン

醫學士　山田先生　醫學士　日垣先生　方說明

七歳以下の子供に用ゐて驚く可き奇効あり

お子達のある家庭に是非御用意あれ。

オインは感冒、熱一切、百日咳に最も偉効あり

オインは服み易く奏効速く最も安全なり。

（十錢、廿錢、卅錢發賣は全國各藥店）

本舗　大阪東京　丹平商會

婦人科　產科　入院分娩應需

京城旭町壹丁目　院主　衣笠茂　中央婦人病院（電話二三四〇番）

堀井謄寫版

堀井を冠せるもの斯界の白眉なり　粗惡なる模造品に迷はさるゝ勿れ

京城南大門通二丁目（堀井）謄寫堂京城出張所　電話四〇二番　振替口座京城一〇五八番

營業品目

肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番

京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番　國電話九七三番　振替口座京城四〇〇番

羅南‼花咲く春（二）

此處が死場所＝氏神が無い

羅南川を街の中央に挾んで面積約一百萬坪の廣袤を有する羅南は天惠の軍用地として且つ國境守備地として好適して居る。さればこそ日露戰後早くも吾參謀本部は約八百萬圓の工費を以て東洋第一の

■模範的軍營 を建造したのである。深山に咲く姫百合が道行く人の目に觸れて手折られた樣な具合に日露役の機會に於て羅南は世間に紹介された、順序から云へば四十二年の軍隊在住當時から今日迄七年の間に相當の發達を遂げて居なければならぬ筈だがや共割合に發達しない一體原因は何んだらうと調べて見ると迄もない戰後のどさくさに乘じて如何はしい人物が澤山入込み

■投機的事業 を遣る者が多かつたために建全な發達を遂ぐ事が出來なかつたそれだから當時の在住者には羅南の發達を圖る爲めに此處を死場所として働いて見ようと云ふ眞面目な考へを有つて居た者は鮮かつた、併し時勢の力と云はうか人智の發達と云はうか夢の樣な不建全な空想に憧れてゐた人々が「吾こそ一番に努力のあらん限りを盡して羅南の發達を圖つて見よう」と鐵椎を振ふやうな勇猛心を起して困苦を忍び艱難と戰つた、そして其等の人々が細々ながらも羅南を守り立てゝ今日に至つたものだ

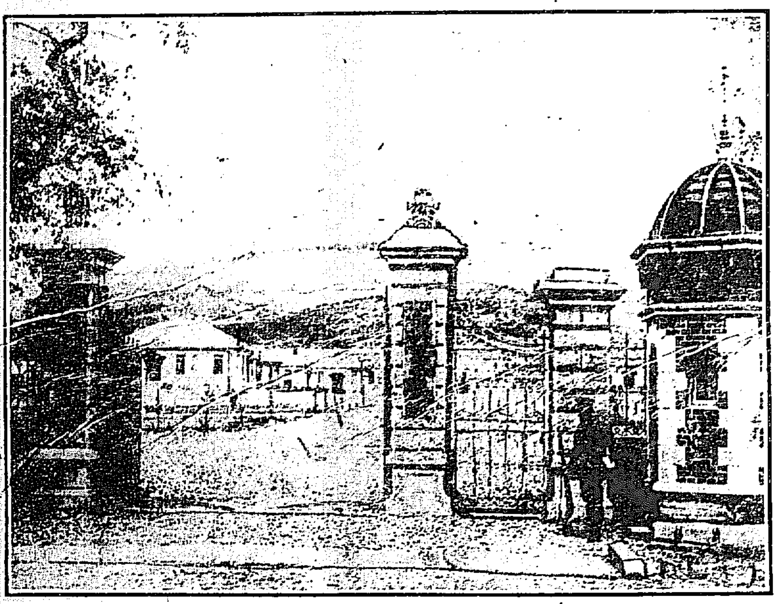
▼團結力

七八年前から羅南に居住して居る人々は云ふ迄も無く羅南を發達せしめたる恩人と云はねばならぬ、今日の

■羅南居住民 は隊蹶當路の困苦を忍んだ人々である、羅南に往つて見て一寸意外の感を起させるのは底力のありさうな頼母しい居住民の態度である、誰に遭つて話して見ても皆相當の識見を持つて居る、私利私慾を放れての話振りは感服の外はない、其上羅南の人は大變團結力が強い、互に何年かの間共に苦勞を仕合て來たと云ふ關係もあらうけれども兎に角

■二十三府縣 かの集合團體としては一致の步調がよく取れて居ると思ふ併しあの狹い處に稻荷さんだの辨天さんだの又は何々大明神といふやうな全市街を統一した氏神が見當らぬのは不思議だ、軍隊に行つて或將校に遭つた時に羅南には社格のある神社がない敬神は即ち

■愛國の表徵 であるからどうしても羅南の街の氏神を迎へたいものだと云つて居た、植民地などは別けても人氣が荒みやすいものだから神社を建設するのは必要だと思ふ兎に角記者が今回の視察は何分短時間のために豫定の半分の調査も遂げ得なかつたが勗めて其土地の人々に遭つて意見を叩いて見た羅南でも多くの人に面會した各々皆の異なるが如く十人十種の話をする、府制實行、道廳移轉、鐵道敷設、新市街經營、公園設置等問題は殆んど數へ切れぬ位である。



羅南步兵聯隊の營舍

東久邇宮家の御慶事

東久邇宮稔彦王妃聰子内親王殿下には目下御姙娠六箇月に在しまし名譽の産婆北尾つね子刀自は毎日御殿に伺候し御用を奉仕しつゝあるが殿下には御身體頗る御健勝に渡らせ給ひ來る四月下旬若くは五月上旬御著帶の式を行はせられ六月御分娩の御樣子なりと承はる

◎李道長官危篤

[illegible]て臥床中なりし全羅北道長官李斗璜氏は六日夜來昏睡狀態に陷り病狀危篤なり（全州特電）

●六〇六號の代藥

大連なる滿鐵中央試驗所長慶松博士は嚢に梅毒注射藥六百六號の代用品を發明したるが本劑は之をアーセミンと稱へ在京醫學博士色川氏に囑托して化學的試驗を施したる上動物試驗を行ひ其効力確實なるを認めたるを以て今回東京日本橋區樗正町アーセミン商會を介して坊間に販賣することとなりたりと

入院隨意（診療夜九時迄）
泌尿器病 專門
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病
永樂町二丁目 金光教會際入
安部醫院 電話四一九番

▲黄金館 七日より新寫眞と差換へたり主なるもの伊太利カメロニアの實寫、滑稽サンショーのランプ、泰西活劇白面鬼三卷七千尺、新派悲劇みじか夜全四卷、活劇紀州騷動根上り松全二十九齣
▲浪花館 京山恭爲、桃中軒如雲の合同一行にて開演中

台所その日く
△貝柱おろし和へ 貝柱を鑵から出して皿に上げ、大根半本程おろし金で卸ろし少々水氣を絞り、砂糖十匁味淋二勺とを茶匙一杯の鹽と酢少々加へしこれを能く混ぜたものへ貝柱を入れてよくまぜくり小丼へ盛つて供します（[illegible]）

●愛犬を尋ぬ

生後半歳ばかりの「チン犬」にして身長五寸位、毛は純白、眼玉は黑にして鈴の如く可愛らし、右本月六日日出學校内にて失踪す、居處御知らせ下さらば相當の[illegible]

商況

東京株式特電

七日 前場寄付 一七一、四〇 大引 一七一、五〇
[illegible]

債券現物特電

七日出來値段（前日との比較）[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

雜報

[illegible]

●洋釘愈々昂騰

[illegible]

大阪洋釘相場

一時及七分五厘二圓高時半四時は各四圓方躍進

[illegible]

●金市ご暗中活躍

[illegible]

●天笠金巾暴騰の期

[illegible]

相場昂騰の期促進

[illegible]

▲牛皮は活況

最近約五六圓方の奔騰

品薄ご地方高

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 電話長[illegible]

●米餅益々強硬

益々強硬

[illegible]

米餅の需要喚起を期待や三十圓說

[illegible]

●雜鑛物の近況

電需品の注文多く底堅き現狀也

[illegible]

下關相場

[illegible]

各地商況

◉釜山（六日の穀物）[illegible]

南大門の廻米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

▲七日前場 三錢安の入電

[illegible]

▲前場小鈍し

市場零聞

行賣仲買店 仁川 [illegible]

▲中限下鞘を願ふ

非常に賣り逸り來る

▲前場の手振り

▲中限解商內

內多く中限の解商

▲大に賣る

[illegible]

㊂丸り大商內

▲三筋賣る

▲丸十乘り替買

▲罣の買退き

▲今筋利喰買

▲前場は盛況

▲期日に定時增證納入混戰狀態

▲入氣賣逸る

▲當限解合談

▲渡し米廻漕說

南浦の人氣は益々賣り

▲逸鞘の附に就き

鞘の縮少に就き

▲下廻り惡米相場に化し正米相場上米相場を演出

▲實賣上當然來

▲期米ご轉換期

▲機微に概れ斯る際に萠芽

相場轉換の重氣迷ふ此上悲觀

[illegible]

仁川米豆取引所 七日の五月限

前場	寄付	高値	安値	止
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

賣買取組高
三月限 四萬二千七百石
四月限 三萬八千五十石
五月限 一萬千六百石

演藝案內

櫻井町 大正館 電話八七三
[illegible]

明治町 浪花館 電話二六〇番
新派浪界之驍將京山恭爲青年浪界之龍桃中軒如雲合同大一座
[illegible]

戍町 御成座 電話二九一
江戸ッ子會一行 [illegible]

黃金町四丁目 黃金館 電話二六三七
[illegible]

大阪堂島米穀取引所仲買
今延商店
電話北長四六〇・四六九・四七〇
自宅南長四五六番
致富之栞……商報……送呈

◎十二金理想的眼鏡
代用金 本品は在來のアルミ金又は鍍金の如く忽ち變色するものなく四種の合金より成る十金色を有すれば先天的二十金市內大流行品特價壹箱入
壹圓五拾錢
下市內に中特に景品として同一金
質メタル一個進呈（送料不用）
製造ハガキにて申込は引替小包にて急送す
東京日本橋區蠣殼町二の十四番 芳美堂支店
電話浪花四三六 振替口座三〇七四一

簿記募集 日本簿記專修學校
[illegible]

種と苗
春季說明附營業案內無代進呈
蔬菜、草花、山林用種子、果樹、山林、觀賞苗樹、球根花卉、和洋農具、各種肥料、驅除劑
京釜線烏致院 朝鮮興農園
電話長一二七番 振替京城三七番

早川貞水 教育講談
早川貞水師の教育講談は家庭の讀み物として識者間の公評。身を修め家を興し忠君愛國の思想を助長せしむるに最も適當の良書である。大切なる御子樣方の御心を健全ならしめ未來の大國民に育て上げるには此の教育講談を御讀ませになるのが一番の近道です。
東京日本橋區長谷川町三二 大江書房

內科 小兒科
芙蓉醫院
京城本町二丁目（瓦斯會社向側）
醫學士 森定吉
電話二六二三番

拜啓小生義今般東京醫科大學附屬醫院を辭し爾今左記に住居致候間此段謹告仕候也
三月一日
本町二丁目 醫學士 森定吉
鄉友諸君

各國時計 自轉車 蓄音器
直輸入 卸商
京城黃金町二丁目（電話一〇一五番）
喜多金光堂
振替口座七八二番

至廉至便國民必備の寶典
大正五年 國民年鑑
四六版壹千頁並製五拾錢 上製壹圓 郵稅各八錢
値上げせぬ間に註文せられよ
紙價は暴騰し印刷料は値上げとなり、遂に出版界は既刊書籍の二割增しを決議せり。されど國民年鑑は依然として壹千頁五十錢の安價を支持せんとす。抑も本書の各社會に歡迎せらるゝ主なる理由は、其の實益無比無盡藏なること、定價の至廉他に匹儔を見ざる點にあり。今や出版界は紙價の暴騰と、印刷料の値上げを以て大恐慌に襲はれんとす。されど國民年鑑は暫く此の恐慌に影響さるゝことなく、普く各社會人士の註文に應ずべし。蓋し是れ本社が本書各種の原料を事前に仕入し置りしが爲に外ならず。今後若し本社貯藏の各種原料盡くるが如きことあらば、或は値上げ斷行の巳むなきに至るやも計られず。値上げの厄に逢はざる內至急御註文あらんことを切望す。
發賣所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

外科 內科 花柳病 皮膚病
京城壽町（本町二丁目入）
島崎病院
△入院隨時△普通病室隔離病室設備△診察夜九時迄△電話二七三六番

越後大評定

第百五十二席 早川貞水口演

水戸光圀の直裁判

門番重助は取つて返すと、直ぐに關根、大野の兩人を門内へ入れて控へさせて置く、所へ瀧口三郎兵衛がやつて來て、一通り調べた上、大野次郎兵衛の白状、小栗美作が毒藥調合の一件より、惡事の段々、十一箇條の口供を認め、之を光圀公へ差上げました、光圀公には豫て證據物を得たいと思召して居らせられた所で御坐いますから、直さま關根、大野の兩人を庭前へ廻し、御自身正面に着座、瀧口三郎兵衛、西宮太郎左衛門を左右に、其他の御家來、綺羅星の如く居ると、光圀公御手づから、斐散しの御文庫の内より、短册を取出し、三郎兵衛に御渡しになり 光『此歌を次郎兵衛に讀み聞かせよ、併し下郎より成上つた者なれば歌の意味は解すまいから、宜く其方から説いて聞かせよ』三『畏まりまして御坐います……コレ次郎兵衛、御前様の御歌、讀み聞かせるに依り謹んで承はれ『見れば唯、何の苦もなき水鳥の、足にひまなき我が思ひ哉』次郎兵衛は今こそ金方奉行を勤め、下役を使つて、立派に愉快をして居りますが、成上り者だから、學問などの心得は、固より何もありませぬ 三『如何ぢや

歌の意味は相解つたか 次『へエ、一寸解らぬやうぢやな、然らば此方が歌の意味を説き聞かせるに依り、宜く承はれ、見れば唯何の苦もなき水鳥の、足にひまなき我が思ひかなと云ふのは、水鳥の水の上を泳いで居る所を見ると、何の心配もなく浮いて居るやうであるが、其實外見で見るやうな樂でない、心配にも苦勞にも、少しも水搔きを休めないから彼の通り浮いて居ると云ふので、此歌を御示しになつた心は、今天下の政治を御治めになるに付いても、御上は一日たりとも御油斷はない、宛然水鳥が足に隙のないやうなものである、然れば御部様に於かせられても、疾に小栗美作の惡事は御存知ではあるが、未だ證據が足りないに依て再調べを申し渡し兼ねて御居でになるのだ、既に此三郎兵衛は嚴命を受け、植木屋に姿を變へ、越後高田へ乘込み、小栗の擧動主家横領の事情等殘らず取調べて立歸り、證據として醫師濱野玄節の胴殼骨を持ち歸り次第、汝この場に及んで包み隱すとも最早及ぶ所にあらず、併し若し汝が改心して、曖昧の申立を取消したならば、毒藥變じて良藥ともなるの喩へ、實に越後家の忠臣ともなるべき者であるが如何ぢや次郎兵衛、有體に申し上げぬか』

に笑刻んだり、此とき中納言光圀公三郎兵衛に向はれ 光『三郎兵衛』三『へツ』光『關根と申す者が、大野次郎兵衛と申する者を捕へ、白状させた十一箇條の小栗の惡事、全くそれに相違ないか、當人に問ひ糺して見よ』三郎兵衛、彌次郎に向ひ、右の趣を相尋ねると 彌『全く大野次郎兵衛の白状に相違ございませぬ』之を聞いた次郎兵衛、卑怯未練な奴にて 次『恐れながら申上ます、私、昨日花觀に參りました途中關根彌次郎に出逢ひたるに、彼は武藝鍛錬な者にて、私を引捕へ、拷問いたします故、苦痛に堪へ兼ね、終に覺えもなき事を白状いたしまして御坐います、全く小栗の惡事など云ふは、跡方もなき詐りに御坐います』彌次郎烈火の如く憤り 彌『汝有體に白状いたして置きながら、今に至つて詐りとは何事だ、武士にあるまじき二枚舌』と飛び掛らんづ有様、之を見て三郎兵衛 三『彌次郎控へろッ』聲を掛け

お聞きなさい

▲八箇月胃中の乃● 米國市俄古某旅舘番頭の妻君でホッチパーカーといふ女は熱病に罹つて入院中夢中でナイフを呑込んだ様な心地したが爾來時々胃が痛むので診察を乞ふても解らない丁度ベック博士とて患者の胃中から銀製洋刀を取出した經驗のある人に依頼した博士はX光線で見ると胃腑の中にはナイフの鋭い尖端が見えるので卅分餘の手術で之を取出した刄の所は自然の作用で餘程腐つてゐたが幸ひ柄が下向だつたので上から壓する事もなく八箇月間胃中にあつたのであつた

▲香水を作る寒地の花● 林學博士三村鐘三郎氏の説に、北海道樺太の寒地に産するヒメシャクナゲといふ躑躅の如な花は我國では利用せず徒らに凋落させてゐるが、此花からはウインターグリンやガウルラリヤ抔いふ高貴の香水を製し其葉からも立派な香水が得られる、獨帝は日本に此木が多いと聞いて大に羨まれたといふ話がある。

▲仁左衛門の名刺廿萬● 片岡仁左衛門の大阪興行は久し振とあつて定紋入の名刺廿萬枚を印刷し數名の手代を八方へ走せ片端に配附したので氣の早い男は選擧運動と間違へて『ハヽア片岡代議士が又出來るかナ』

皮徽科 入院隨意(診察夜九時迄)
皮膚病 徽毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目(元町二丁目)
佐藤醫院 (電話一一七三番)

三月九日九星
舊二月六日乙巳
本命三碧東滿先勝

▲三碧● 向ふ見ずの事ども多き日 新事見合せ 方は吉暗劍東▲四緑● 念願なる日 轉居旅行入用 名弘求職縁談入婚證券訴訟の和を計る等萬吉▲五黄● ふと疑を受けんとす注意新事手控吾事は妨なし▲六白● 痛々數事有日 新事手控 吉事は吉衞生に注意せらるべし▲七赤● 貰かぶりの事有日新事手控 吉事は吉新取引は用心の事▲八白● 審り損の事有日新事手控 事は吉 女難散財を防がるべし▲九紫● 高價賤商の日 轉居旅行入門名弘求職命作婚禮物の指南を始める等吉▲一白● 滿ちかなる日轉居行商入學金談求職名弘婚禮教會病院を開く等吉▲二黒● 押つけ主顧の事有日新事手控 事は吉 保證連帶等なすべからず

これ皆最近實驗者の寫眞なり

(一)愛知縣碧海郡矢作町 鳥居[illegible]夫人
(二)山形縣西田川郡大寶寺村 横瀬竹惠子
(三)福島縣相馬郡金房村 江戸川勇子
(四)岡山縣上道郡平島村 堤和一氏夫人
(五)青森縣北津輕郡三好村 桑田イソ子
(六)千葉縣千葉郡二宮村 仙太氏夫人
(七)島根縣大原郡幡枝村 永井宗太郎氏夫人
(八)栃木縣安蘇郡旗川村 兵藤兵助氏夫人
(九)上州邑楽郡桐村 小谷野さと子
(十)山口縣玖珂郡本郷村 山田宗九郎氏夫人

病氣が治つて此子寶

▲蒔ぬ種は生えぬ と申す諺の通り如何に子供が欲しいと望んでも夫婦の身に故障があつては幾年經つても姙娠する道理はありません、偶には男子に子胤がない場合もありますが、それは極く稀で十中八九までは婦人の生殖器疾患、即ち子宮病、血の道、ヒステリー等から揃るべき不姙症に陥るのです。

▲子宮病血の道の症状 は申せば先づ月經不順、頭痛、眩暈、逆上、手足や腰の冷え、耳鳴、肩の凝、白帶下、下腹の引吊るやうな疼み等いろ〳〵變調を來しますが、此中直接不姙の大原因となるのは白帶下です。何故かと申せば彼の粘り〳〵した分泌物の中に男子の精蟲を殺す所の毒性を含んでゐるからです。ところが素人は白帶下位婦人にありがちなものと思つてゐる者もありますが、實に危險極まる話です。そして此の白帶下のある間は幾年經つても子寶を得られぬばかりでなく之を抛つておくといよ〳〵重態に陥つて遂には一命に關するやうな事があります。

▲治病姙娠の實例 そんなら如何して此病氣を治して姙娠の目的を達せられるかと申せば、それは有名な婦人科專門大家の方の書かれた「婦人病者の心得」といふ女一代の衞生書を讀んで其通り實行する事です。本書には子供の出來る譯、出來ぬ譯、婦人病一切の治療法、產前產後の養生法まで詳しく噛んで含めるやうに説いてありますから、自宅で安全に治療する事が出來ます。現に此の寫眞の方々なども多年婦人病に惱まされ子供が出來ぬ爲に悲觀して居られたのが本書によつて治療法を會得し、病氣の快治と共に此の愛らしい子寶を擧げられたのです。『婦人病者の心得』御入用の方は左記何れにてもハガキにて申込まれよ、何人にも無代で進呈致します。

東京京橋區新榮町四丁目
大阪東區淡路町一丁目
命の母本舖 笹岡省三藥房

月やく
月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法を直に御知らせ致します
東京神田錦町三ノ一九 境川けい子

てんかん
病で時々ヒキツケ種々の手當も効なく困難の方に切手三錢送れ永年の病も自宅にて人知れず秘密になおす最善の良藥をお知らせ致し升
名古屋市中區南小川町 救生舘

小便の病
小便に淋疾しく行きたくなる病 小便した後こゝろ持ちあしき病 小便ニゴル又ハ血カタルしよか 右病者は往復ハガキにて照會相談 最良藥を詳報す
藤原悦

クスリは[illegible]
胃腸藥
定價十錢廿錢五十錢一圓
出外通藥四十餘種 各地藥店にあり

徳川式 ゴム底便靴
學生吏員自轉車乘旅行運動野球用に適し足痛の患者に好評 八圓の靴に優る 特價金六十五錢 甲七十五錢 前金引換料小包… 代金不同の時は返金す 發送料三錢
振替大阪一二六一九番
大阪南區松屋町 日野商店

太田胃散 胃病良藥
飲過ぎ食過ぎに妙なり
十錢廿錢四十錢五十錢一圓
本舖東京兩國 太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

新刊書御案内

書名	著者	定價
闇華中の定石	鈴木爲次郎	五〇
淺草物語	久保田萬太郎	九五
短歌三百講	與謝野晶子	一〇〇
はやり唄と小唄	湯淺[illegible]	八〇
詩集正義の兜	佐藤惣之助	六〇
山口金作スキー術	大日本新聞學會編	六〇
朝鮮名勝詩選	成島湘士	一三〇
講談實說 谷野名槍傳 武勇傳		三〇
無駄なき生活	山脇房子	一〇〇
國語の話	大島正之助	七五
人生の裏面	村上浪六	一〇〇
官立學校入學試驗問題作文模範答案集		四八
進化原論	谷津直秀	一五〇
雄辯美辭と筆	樋口龍峡	一二〇
姉と妹の手紙	小野美智子	四五
女の裏おもて	青柳有美	九五
名士の癖	國木村	四五
新生活の創始	佐野袈裟美	八五
日常生活の化學	富永[illegible]	五〇
英雄風雲錄	石井[illegible]編	五〇
民育要義	山崎延吉	五〇

京城本町 電話二〇八 振替京城七二番
大阪屋號書店

滿蒙處分論
露國大本營クロパトキン將軍原著 石井包高譯 定價金一圓 郵税金十錢
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇

贊化病院
京城本町二丁目 電話二四一番
入院隨意 普通病室並隔離病室
院長 醫學博士 古城憲治
尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依頼に應ず(毎日五名を限り無料施療す)

かぜねつの最良藥
ハカリ印の ヘプリン丸
大阪田口のヘプリン丸改稱
かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘプリン丸を用ゐて全快せらるべし
●各地藥店にあり

小兒科專門 内科
京城旭町三丁目(元十全病院跡)
若槻醫院
ドクトル メヂチーネ 若槻寛隆
電話二四六二番

醫化學器械一式
仁川本町 北島藥店 電話三四・振替京城六七七
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番
(K) 藥種賣藥卸商

資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
★京城本町壹丁目
株式會社百三十銀行京城支店
電話(五八番・一九四番) 振替貯金京城一二三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

イケダ小兒病内科醫院 池田季雄
京城三越呉服店前(入る旭町四丁目)
電話 醫院一二三四番 自宅八八〇番

金露
攝津灘 大塚釀造所吟製
京城本町二丁目 發賣元 前田酒店
電話一三七番 振替口座四二五

正誤 大正五年三月四日發行京城日報第三千四十八號第四面掲載ドラッグ商會滿鮮本部廣告十三行に血液元素滋養素『オーソール』を始めとしの十七字を脫字せしに付挿入正誤す

村上唯吉著
心機一轉 定價十錢 郵稅二錢
右内鮮文とも出版出來せり陸續御購讀願上候
京城日報代理部
申込所 京城古市町 孤松書院

瀨戸醫院 外科 皮膚科
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀨戸潔
診察夜九時まで
(電話二四九八番)

朝鮮郵船 出帆

船名	航路	日	發
全羅丸・京畿丸・貢海丸・咸鏡丸	門司より各港經由雄基行	三月廿三日・三月十三日・三月廿七日・三月八日	釜山發
鏡城丸・昌平丸・咸鏡丸	元山より各港經由雄基行	三月十四日・三月十二日・三月八日	元山發
忠清丸・平壤丸	城津清津浦潮行 復航釜山より門司又は長崎行	三月八日・三月二十日	元山發
永興丸	北久洙、甘浦通行	毎月廿八回	元山發
盤德丸	甘浦、九龍浦、浦項各港經由	三月十四日	釜山發
江陵丸・咸陽丸	長生浦、方魚津寄港	毎日	(釜山・浦項)發
三浦丸	長承浦、統營、三千浦、麗水、寶文島、濟州、木浦等寄港	三月十一日	釜山發
濟州丸・統營丸		毎日	釜山發
順天丸・巨濟丸・慶寶丸	各港經由麗水行 麗水より釜山行に接續	三日目毎	木浦發
興丸	一、各港經由濟州島行(西廻)	三月九日	木浦發
公州丸	一、南多島海列島行(月二回)	三月十二日	木浦發
公州丸	一、各港經由濟州島行(東廻)	三月十四日	木浦發
宗信丸	海州經由各港經由、德洞又は白翎島行	三月八日	仁川發
江原丸	芝罘、大連、青島行	三月十七日	仁川發
麗水丸・普州丸	各港經由木浦行	三月八日・三月十三日	仁川發
錦江丸・南陽丸	江華島、喬桐島、海州行	毎日午前	仁川發
平安丸	經由大黒山、木浦、門司、若松行 復航門司、木浦、群山行	三月十四日・三月八日	群山發・若松發

本社 電話長一九五二番、二三一番 外船と荷客通運の便あり、代理店、荷客取扱店に照會せよ
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店 (電話一一七〇番)

阿波共同汽船仁川出帆
朝鮮沿岸各港並大連、芝罘、大連行
共同丸 毎月 日後二時入港 月 日前九時出帆
朝鮮沿岸にて荷客運搬の外大連にて青島行定期船に接續し荷客共通の取扱を爲し同額運賃にて輸送御取扱可仕候
第一 阪鶴丸 城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 月 日後九時入港 月 日出港
第三 西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日前八時 月 日出帆
阿波國共同汽船株式會社
(元山出帆)本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部
曙日町(電話二四四七番) 元山代理店 田口回漕部
南大門驛前(電話二六八、二〇一七) 京城取次店 河村運送店

京城日報
第三版
大正五年三月八日（水曜日）
八日朝刊（夕刊と合せて十二頁）
發行所 京城日報社

佛獨戰局（下）

京城日報

歐洲各戰線〔illegible〕殊に〔illegible〕たるに、去月二十一日獨軍は〔illegible〕ヴェルダンに對して、猛烈なる攻撃を開始してより以來、天下の耳目は此に集中するの觀あり。

顧ふに、ヴェルダンは佛國第一の要塞〔illegible〕

財界時言（二）

日露金融の連絡

○日露間の經濟關係は近時益々密接を加ふるに拘らず、貿易の促進に極めて重要なる關係を有する金融機關の働きが充分ならざりしは〔illegible〕朝鮮銀行〔illegible〕鮮銀本支店出張所〔illegible〕本月六日より之を實施〔illegible〕

京城雜筆

山縣生

〔illegible〕

燈臺の話

〔illegible〕

燈臺守は聖の聖なるもの

〔illegible〕

絶海の孤島

〔illegible〕

北鮮の山水

春川路（4）

東拓理事 村田俊彦

牛頭山

新都の古蹟の東南即ち其古蹟なる春川邑内と不遠遙に三角形をなせる地點に於て牛頭山あり。恰かも東京の愛宕山に似たり。山上小祠を安置す。今はその腹亦寺院ありし由なるも、基石を殘すのみ。牛頭山は即ち素盞男尊の發祥の地と稱せらるゝ所にして、單り其の牛頭なる文字が日本紀に所謂津毛里と、朝鮮語のツモリと同音たるのみならず、又其の傳ふる口碑に於て素盞男尊の故事と似たるものありと聞く。余其の眞僞を知らずと雖も、錄して以て好事者の參考に資す。天の安川の話は史話なりや神話なりや種々說ありと雖も、恐らくは史話なるべし。史話なりとすれ〔illegible〕

〔illegible〕厚くして彈力に富み、一度之を剝ぐも更に又新皮を生ずと云ふ。近來之を採りてコルクの代用品を製せんことを企てつゝある者あり。其の樹皮の標本は共進會にも提出せられたる〔illegible〕

村田氏の春川スケッチ

〔illegible〕鱒を産す。是等の魚は海水にのみ産すと思ひたりしが、此の淡水にも産するを聞き、命じて食膳に上さしめたりしが、味甚だ美なり。遊覽者の試むべきものならん。

日報俳壇

雉子郎選

冬籠

燿華なく住みて夫婦や冬籠　橙黄子
死と面すはなき冬を籠りけり　如泥子
冬籠窓明うして庭淋し　蠶巣

煖爐

ストーブや間遠の師の歩み寄る　雲帝
人默せば煖爐息する靜か哉　同
泣く子抱いて又も煖爐の煙る哉　新海
默す二人に閉げる爐邊かな　青扇

園爐裏

子なくてあろり淋しき茶の間哉　袋人

冬帽

冬帽や眞深さに友と知らざりし　雲帝
冬帽子驛の灯を見て野を急ぐ　同
冬帽や氣昂く出し空の下　橙黄子
冬帽や死灰の如き夜商人　如泥子
まじと見が言ふ去る冬帽の人　雉子郎

クリスマス

夜の戶出る顏うつ雪やクリスマス　容堂
クリスマスの鐘が鳴る臥床冷かに　青眉

木材業者
木材需用者
諸君ニ告ク

營林廠ハ業務ノ都合上成ルヘク從來ノ小口販賣ヲ廢止シタキ希望ヲ以テ木材價格低減ニ關スル內規ヲ定メ其ノ結果左記二名ノ者ト大口取引契約ヲ締結シ當廠木材標準價格表ノ二割ヲ低減スルコトトナリタルヲ以テ廠材ノ小口購入者ハ直接當廠ニ注文セラルルヨリモ左名ノ內ヨリ購入セラルル方割安ニシテ且手續モ簡便ナル利益アルニ付御注意マデ廣告ス

記

大坂清水榮次郎（代理人三井物產株式會社京城支店）
新義州濱町　新義州木材株式會社

大正五年三月二日

平安北道新義州
朝鮮總督府營林廠

新刊發賣

ポケット
ストーリーズフロムクオウレ
註釋附

伊國の國民性を知らんと欲するものはこの書を見ざる可らず〔illegible〕全篇十二章〔illegible〕本書の中學校その他に教科書として採用さるゝ事〔illegible〕

歡迎無限なるポケットリーダの第十二編愈々成れり

英譯註釋 英文附

發行所 東京市麴町區富士見町一二八 英語研究社

大島庄之助先生著
中學國語漢文叢書第一編
國語の話
漢文の話
最新刊 大好評
親切叮嚀を極めたる談話體の講義

發行所 東京市麴町區

スワン萬年ペン

宮內省御用品本品の眞價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似品多し本品の軸部には（SWAN）の英字刻印押捺せり

大阪平野町二丁目スワン大阪出張所

撞球界の泰斗 王乃一熊著
菊版上製三百餘頁 總クロース美裝函入

撞球指南

定價壹圓五拾錢 郵稅金二十錢

玉突の理論と實際を解說せる初學者の入門熟達者の虎の卷

東京朝日評 我が撞球界に於ける科學的知識と技術の卓拔並ぶものなき點に於て斯界の權威として推さるゝ著者の最も統一せる述作なり本邦撞球者の爲に他に類例なき好指導として推薦すべき者なり

發行所 京城日報社代理部
京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番

ヴェルダン形勢依然
獨軍必死の努力―佛軍頑強に支持す

巴里よりの半官的報道に據ればヴェルダン方面の形勢は變化なく佛軍は滿足なる狀況にあり敵はヴォーモン村落の境界に於いて佛軍を擊攘せんと努力しつゝあるも佛軍は頑強に之を支持しつゝあり敵はオーモン森林とヴォーモンとの間に於けるヲーダーリートにて固めたる場所より總ゆる口徑の榴彈を發射したるも一時も進む能はず、敵の此の失敗は佛軍勝利の確信を益々增進しつゝあり(倫敦電報)

北軍敍州陷落後報

敍州陷落に關し其の後北京政府の公報に據れば革軍の戰死者は一千名を超に百名は捕虜となれり尙北軍は本月三日瀘南衡陽の東方に於て革軍二千名と交戰せるが革軍は敗戰して江西方面に遁走せり革軍の戰死者四百名を算す(上海電報)

沿海州漁業と露國

本野駐露大使と露國政府間に交渉中なりし沿海州漁業問題は露國政府の好意に依り既に協商廻航漁業殘留物運搬の件は孰も我要求を容認する事となり餘す處は閉鎖漁區十六箇所開放の件なるが之とて我要求を容るべき模樣なれば猶多少交渉の餘地ありて未決定なるに依り三月七日の漁區入札期日には間に合ざるも次期入札には充分漁業家に滿足を與ふる樣努め居れりと(東京特電)

七日の定例閣議

七日は定例閣議に付大隈首相初め各大臣(岡陸相缺席)は正午過より永田町首相官邸に參集會議を開き石井外相の外交要件報告ありし後露國へ肥前外二艦讓與に關する手續上の件、議會の協贊を經たる法律案交付並に施行期日等の件等を決議し二時過散會したり(東京特電)

諮詢の名の下に一區一名都合十五名の委員附託となせり(東京特電)

立太子式準備

皇太子裕仁親王殿下の立太子式御擧行は愈々來る十月三十一日の天長節祝日の佳辰を期し御擧行相成るべく御內定ありしを以て當局にては夫々準備中なりと(東京電報)

航空隊組織 (海軍)

本年度豫算に五箇年度繼續設備費として六十二萬八千六百六十一圓經常費として卅五萬圓を要求可決せる海軍航空術研究所は愈々年來の希望を實現し海軍航空隊を組織することゝなれり同隊は現在の追濱飛行場を基礎とし四月一日より獨立せる軍隊組織となし我空中戰鬪力に對し一新生面を開くに至れり(東京特電)

電車賃値上可決

東京市電車賃往復一錢値上案は六日夜の市會に於て二十七に對する三十六の多數を以て値上派の勝利に歸したり但値上派にては豫定の如く愼重

海運界の活況

中遠洋航路に使用し居るもの九十四…んに…船舶の蝟集…力め已に約六萬人…長し早晚爆發を免かれざる形勢あり…志…[illegible]…面の松葉賣成…遺失したる財布…長沙洞にて光化門通李成玉所有の…(二圓)を竊取し鍾路署に…竊取して鍾路署に檢擧さる…空巢狙ひ…山口縣生れ住所不定の…弘…末吉(…)は二十九日午後二時頃…

內地人の教育
專門學校の施設

京城中學校の入學成績も六日を以て發表され五百十名の入學を許可し殘り百五十七名の志願者中より十七名は更に釜山、平壤、中學の試驗を受くるかさもなくば他の方法に依り今後の方針を選定す可き場合となりたり、朝鮮に於ける內地人子弟の中等教育機關としては官立たる前記三中學を除くの外善隣商業學校か又は釜山、大邱、仁川、平壤、鎭南浦等に乙種程度の實業學校を有するのみにて京城中學の受驗に失敗したる者は先づ是等の各種學校に驅せて再び受驗するの外途なき有樣なり

▲內地人の增加 然るに年々歲々內地人の入鮮し來る者漸を追うて多く從つて子女の數も增加し現に京城の如きは隔年に一小學校を新設せざるべからざるの勢なり京城既に斯の如しとすれば地方も亦其土地相應の發達を爲し從つて教育に熱心なる內地人は子女の教育を顧慮する者多く就中小學卒業後の教育を如何にす可きかは家庭の重大問題なるべし是に於てか總督府の既設前記三中學の外に昨年は大邱に中學設立を請願し今又大田よりも同樣申請を爲したる

▲某當局者の意見 を叩きたるに―尋常六年生にして中學校を卑睡教育となし今後上級の學校に進む資力と膽力ある者は今一年高等小學に入り來年再び受驗するも可なれども然らざる者即ち單に中學校の修學にて終らんとする者にありては寧ろ實業的教育に方面を轉換するを以て適當とし釜山、仁川、平壤、鎭南浦を始め善隣商業等の各商業學校又は本年より附設したる大邱の農業學校に入學し實業的の教育を受け卒業後直ちに之れを以て處世立身の階段となし得る方法を採ること最も適當なりと信ずと

仁川水產界

仁川港及び近海に於ける二月中の漁況は依然として前月と毫も變化なく

▲京城に新中學 總督府學務當局者に於ても夙に此中學教育の施設に就き先づ京城に第二中學を增設し應急の策を講じたる上更に漸次地方に中學を設置すべしとの意見も有し居れども如何せん豫算の關係上其他各種制度の均衡上從前今日に至りたるものなり、されども入學志望者は逐年增加の趨勢を示し內地人居住者の來鮮と正比例して增加し來るものなれば近き將來に於いて必ず京城に第二中學の新設を餘儀なくさるゝに至る可きは何人と雖も首肯せらるゝ問題たり、若し假りに京城に一中學を新設するとせば初年度に於て約五六萬圓の創設費を要し爾後年々數萬圓の(京城中學は約六萬圓の豫算)豫算を計上せざる可らざるも更に他の方法としては私立中學に補助を與へて經營せしむるか或は篤志者が最初十萬金を投じて私立中學を經營せば五年を經ずして相當採算立ち得るに至るべしとも稱へられ居れり

▲應急の好施設 かゝる時に當り總督府は專門學校令を發布し來る四月より工業傳習所に內地人の入學を許可し各科を通じて尋常小學校卒業者中より若干名の志願者を募集することゝなりたるは修學者は素より一般父兄の以て大に幸福とする所たるべく更に又醫學講習所にありては本年度より內地人を募集するに至りたるは中學卒業者の一大福音と云ふの外なし斯くして逐次教育の制度相整ふに至らば在鮮內地人等が過般要は自らにして解決するものと云ふ可し尙ほ中學に入學し得られざる子弟が今後の方針を如何にす可きかの點に就き

（前略）…昨年…關散期なるを以て水揚量は殊に少數なり而して例年二月中の漁業は全體に於て不況なるが殊に本年は漁揚に於て風波烈しく爲めに昨年に比し非常なる不漁にして從て荷も前月より減少したり而して三月中旬より漁期に向ふを以て幾分の增加を見るべきも四月以後に於ては愈々盛漁期に入るを以て漁船は其準備に著手せり二月中漁船廻航度數及び水揚高如左

（表）

其消費先は京城龍山三割仁川市內五割其他の各地二割にて水揚高如左

▲米價低落の狀勢 容易に回復せざるより農家は前途を氣構へ惜しみの有樣なると當業者に於ても亦當用日約定物の外一向に買進まざるより地方の廻米更になく大小豆は氣配尙ほ良好なるも產地品薄の爲め一部の朝鮮人間に思惑買をなすものあるに止まり大取引更になかりし又牛皮は下旬に至り相場稍持ち直しの觀ありし爲め從分荷動以來多少沈滯の氣味ありたる商況を稍恢復したるも然も昨年の暴落に連れ甚しく低落せる價格の…減少したると目下農繁期を目先に控へ

▲生牛相場勝貴 の爲め自然に當業者間にも蓄牛移出方面に鑑まりたる等概して輸移出の荷動きを見るに至らざる資金の需用を喚起すべき好材料なく加ふるに地方より入荷する金塊の出廻りも前月に比し減少したる結果輸移出の不振諸物貨の騰貴と相待ち一般の購買力を減殺したる爲め以前より持越品の消化さへも意の如くならず市場一段の沈睡を來せり爲めに近く更衣期を控へ居るに不拘僅少の綿絲布金巾類と其他鹽魚等日常必需品の入荷を見るに留まり概して手控へ勝ちなりしを以て此の方面亦新規資金の需要なく

▲貸金回收勝ち にして同業者何れも放資の材料の乏しきに苦しみ各方面共多額の遊資を擁し徒らに金融の緩

平壤財界近況
平壤朝鮮銀行支店調査

二月以來平壤を中心とせる經濟界の趨勢に就き朝鮮銀行平壤支店の調査を聞くに二月は月初舊正月の躊躇あり市中の商狀一般に閑散を極め月の初旬には內地…つ內地

京畿道行道樹
青島より取寄せたるニセアカシヤ廿萬本

京畿道にては管內一二三等道路並に街路樹植栽用として青島守備軍司令部に依賴しニセアカシヤの苗木二十萬本の發送方を依賴中の處同苗木は近々到着する筈なれば同時に京畿道へ到着と同時に植栽に著手し一は京城、永登浦線、京城、議政府線、京城、忠州線、京城、金浦線、京城、水原線、京城、仁川線(左側道路)、京城、平壤線、京城開城線、京城、春川線(春川街道)京城坡州線合計六十一里、二等道路十九線百六十八里の總計三百二十里に對し一二等道路は四間置き三等道路は六間置きに植栽する筈なれば往々は美觀を呈して旅客を慰むるに足らんか

常成會近況
免囚保護事業

從來大邱出獄人保護會の名稱の下に免囚保護の實を擧げつゝありし保護會は去る六日午後四時より大邱地方法院構內に於て評議員會を開き樹立法人となし常成會と名稱を變更し一層の成績を擧ぐ可く滿場一致にて大邱出獄人保護會所屬の宅地二百九十八坪(時價二千九百八十四圓)宅地一百八坪(時價三百五十八圓)▲畑四十八坪二合(時價八百五十圓)▲建物四棟五十坪▲同上(時價三棟十一坪)二合(時價九十圓)▲現金一千九百圓を提供し新たに財團法人大邱常成會を組織して設立せしが他の免囚保護事業參考の爲め會則の概要を示せば左の如し

財團法人大邱常成會則

第一條 本會は附設行爲第一條(第一條大邱監獄出獄者にして更生の業に就かんと欲するものを保護するを以て目的とす)の目的を遂行せんが爲左の事業を行ふ

(一)必要と認むる者に對しては相當期間本會に保護し教誨を施し又は職業を紹介す(二)職業の資金を貸與し又は必要ありと認むる者に相當の金品を給與す(三)一時保護の必要ありと認むる者を其家族に引渡す(四)其他相當の助力を與ふる事

第二條 本會の目的を贊助する者は之を會員と稱す其種別左の如し

一、名譽會員 (イ)本會の推薦したる者(ロ)金百圓以上寄附したる者
二、特別會員 (イ)理事に於て特に功勞ありと認めたる者(ロ)金三十圓以上若くは之と同價額の債權其他の物を寄附したる者

第三條 …一時金十圓以上若くは之と同價額の債權を寄附したる者

第四條 …本會の目的を贊助し金一圓以上若くは之と同價額の物品を寄附したる者

第五條 …各項の寄附金は一時に之を寄附するを要す但し月賦の方法に依る者は…前條の區別に從ひ會員たる…

第六條 本會の事務を處理する爲め本會則第一條規定外に必要と認むる職員を置く理事之を囑託するを得

第七條 本會の事業成績及收支決算は翌年度の始めに於て評議員會の承諾を經之を會員に報告す

第八條 本會の事務細則は理事之を定む

第九條 本會則の改正は總會の決議を經て相當の手續をなし其效力發生前に於て…

鴨綠江の天然氷
鐵道局の運賃大割引 既に二萬四千五百噸

本年の氣溫は例年に比し全く異例の暖氣にて爲めに漢江の如きも充分なる結氷を見ず殊に京城以南の河川に於ては凍氷殆んど稀なりしより醫療用及び營業用の氷は冷藏用氷拂底を告げ當業者は乃至夏季の困惑一方ならざるは勿論公衆の爲め鴨綠江氷の採取不可能となれる結果次第なりしが漢江、大同江其他等に耐へざる事ありしより鐵道局にては是等として遠く鴨綠江氷を取寄せんとするに至りしより鐵道局に便せんが爲め鴨綠江氷の需用者に限り朝鮮鐵道は運賃半減を申出で無論何人の利用にも便せしのみならず更に需用供給兩者の仲介を爲し

其主なる發送先

は京城の二千八百六十噸(七十七萬五千六十貫目)を筆頭に仁川の三百九十噸(十萬五千六百九十貫目)大邱の三百三十八噸(九萬一千五百九十八貫目)木浦の二百三十四噸(六萬三千四百十四貫目)等と難波…京…に於ける貯藏倉庫の設備不完全なる爲め本結氷期間內に需用量の全部を完送する事不能なれば現に安東縣の倉庫に貯藏しあるもの二千餘噸に及べりと云ふ蓄しく斯の如く鴨綠江氷の南下せるは今年を以て嚆矢とすべし

京畿道栗實及苗

大正三年に於ける京畿道管內栗の結實木數は三十六萬五千本にして此に要する生產栗は一萬六千三百二十二石なるが右の中八千百五十九石は自家用數量にして販賣數量は八千百六十三石なりと而して總價格は八萬八千七百八十五圓なりと尙ほ既往五箇年間に於ける栗苗養成及び下附苗數を聞くに左の如し

	官營苗圃	民營苗圃	生產苗數	下附苗數
大正三年	二十一石			上萬二千本
同二年	十二石			四十五萬五千本
同元年	四十八石			二十六萬八千本
四十四年	二十八石			十七萬本
四十三年	三十七石	民營苗圃		
大正三年		百十一石	生產苗數	
播種			百十一萬三千本	
同二年		六十七石	六十七萬本	

淸津港 (四)
一 港灣の整理

淸津港の如き港口廣き港灣に完全なる築港を經營せんには、少なくも二三百萬圓の巨資を要す可し、素より如斯大事業は一法人たる淸津府の容易に爲し得る事業に非ざれば必ず國家の財力に由て經營す可きものなれども、是とて一朝一夕に決す可くも非ず、故に築港工事の前提的施設として現在の防波堤以外に更らに大なる防波堤を修築し、焦眉の急に應ずるを最も適當なる處置なりとす。淸津の如く其生命海上に在りて、殊に市街が山間溪谷を開鑿せし狹少なる場所にある上は、附近の海岸を埋立て、市街地を擴張するは市街經營上當然の要諦にして既に四十三年より大正二年三月迄の二期間に於て約一萬坪の海上埋立工事を爲し、今や第三期の埋立約七千町步の工事に著手せんとしつゝあり。大防波堤を築かんと云ふは即ち此第三期埋立地と第二期埋立地點とを抱擁したる大防波堤を、港內に設けんとするに在り然る時は埋立地の護岸的設備となるのみならず、物揚場の使用を安全ならしむることを得べく、若夫近き將來に於て一大築港工事の竣工するに至らば、直ちに此防波堤は繫船岸壁突堤の幹部として利用せらるゝ一擧兩得の施設たるに至るべし、此點に就ては幸ひ開港以來在任せる稚野府尹或は民間に具眼の士ありて既に相當の考案を有し居る可く、上司の當局者素より之れを等閑に附す可きに非ざれば不日港民の希望は事實となつて現るゝは瞭なり、斯くすれば淸會線の開通に因て來る物資の吞吐集散にも辛うじて應ずることを得、大邱、浦鹽等の各貿易港と對抗し得るの素地を作り得たりと云ふも敢て過言にあらざるなり、此港灣整理問題に附帶して鐵道局と淸津府との間に貨物揚陸場設置の件に付き懸案となり居れる一事あり、即ち淸會鐵道淸津停車場は淸津市街の中心より約半里を隔てし浦項洞に設けらるゝことゝ決定したるを以て、此停車場と淸津港波止場との連絡を保つ可き、鐵道支線の引込工事の問題なり、此に關しては別に稿を更めて記述する所ある可きも、同じく港灣整理と相關連したる研究問題の一たるべし

人事消息

▲島山虎也氏(新任平壤覆審法院長) 九日午前九時十分南大門驛發列車にて赴任
▲松村侍從武官 七日夕入京朝鮮ホテルへ
▲岩本以明氏(京城地方法院長) 釜山より歸任
七日夕山城館へ
▲中村精七郎氏(朝鮮郵船) 七日夕入京天眞樓へ
▲中村辰五郎氏(朝鮮郵船) 同上

本日朝刊 附錄共 八頁

〔祝三千號〕 雉子郎
春風や全道に布く三億紙

國產獎勵と朝鮮牛

朝鮮牛の特徴

▲性質溫順にして勞力粗食に耐へ酷寒三伏の候と雖も原野に队するも疲勞病魔に侵さるゝ事なし
▲爪の堅牢なるは岩石を削るが如き堅固無比なるが故に數十里の山路石道にてもクツを穿たしむるの必用なし
▲近來朝鮮牛の佳良なるは諸點の完備せるに依る之れ農家畜產界の一大福音として賞讚せらるゝに依る
▲輸送は朝鮮及び日本內地に於ける鐵道運賃の特約と關釜間に於ける輸送は汽船により迅速確實を以てせり

見落す勿れ畜產農業界

▲農業家畜產界の諸彥益々御引立あらん事を奉願上候

活牛移出問屋 上杉古太郎商店
釜山鎭驛前 電話一〇三七番

最上醬油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

浪板洋釘土工用具
石油揮發油諸油
大谷金庫建築金物
消防用具類
和洋ストーブ
京城本町一丁目
諸官衙御用達 佐野彥商店
電話一六三番 振替京城一一〇番
◉地方よりの御注文は代金引換を以て迅速に御發送可仕候

優等清酒
菊の壽
釀造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座二三九番

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、寒天、金巾、綿布、石油、洋燈、紙、莨、蝋燭、缶詰、醤油、酒、酢、染粉、足袋…其他日用雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おろし店
仁川本町
河野本店
電話一八一番 振替京城二一二番

日韓書房
新版報告
長瀬春風 探偵活劇 名金(前編)
村上浪六 沙翁傑作集
同 イブセン傑作集
勝屋英造 外來語辭典
山脇房子 無駄なき生活
京城本町二丁目
電話一四五七 振替口座一二五〇

特許課
東京特許事務所
特許辯理士 吉田三市郎
特許辯理士 田坂貞雄
特許辯理士 中川五郎吉
特許辯理士 山崎今朝彌
特許辯理士 阿保淺次郎
特許辯理士 佐々木藤市郎

▲今筋大に賣る　▲○十續て買ふ　▲本日の現物界

今最近の……を見るに總計二百二十八隻總噸數……最近……五十五萬九千五百三十七噸にして……撈客を呼はむ……一種の匪徒現はれ……共和黨の侵入により一府其確執を增……京畿道揚州郡長興……なるが三月六日……京城……

侍從武官松村海軍大佐＝南大門驛にて

●有難き思召のほど

侍從武官松村海軍大佐謹話

鎮海灣及び永興灣へ御差遣相成りたる松村侍從武官は七日午前元山發午後五時十五分南大門著入京せり淸凉里驛まで出迎へたる記者に今回朝鮮鎮海灣及び永興灣に於ける海軍部隊の狀況を見て參れとの畏き聖旨に由り兩地の部隊を巡視したり恰も兩地共零下十度內外と云ふ寒氣の時期なりしを以て遺憾なく冬期に於ける部隊の勤務狀況を知る事を得たり飜て部隊に對しては

それ〲酒肴料病傷者に對しては御菓子料の恩賜ありたり

猶京城にて果す可き御用の二三あるを以て八日一日滯在歸東の豫定なり予は曾て北淸事件の際と三年前御國よりの歸途と二度朝鮮を通過したる事有り其頃に比すれば鐵道沿線の地方等著しく水田耕地の開拓されたるを見たり畏き邊の思召を以て差遣されたる予に對して御使ひの內容等を聞き度き旨申出づる人あり殊に新聞社の人々よりは樣々の質問を發せらるゝも聖思の程を御話しするは誠に宜しき事のやうなれど御使を承りたる予に取つては一方ならず迷惑とする處にして未だ御使の結果も伏奏に及ばざるに

其の一端をだに他に洩すが如きは絕對不可能の事に屬す

曾て青島攻圍軍に御使ひしたる際の如きも或る新聞に予の關知せざる處を揭載せられ非常の迷惑を蒙りたる事あり猶今回の如き軍隊の勤務狀態を見て參れと云ふ思召に出る御使を世間にては多く御慰問使と申し新聞にても其のやうに書き有れど予の考ふる處に由れば之れは慰問と申すべきものには有るまじく成程思召は御慰問と云ふにある可けれど臣民の方より慰問等と申すは其の當を失したる言葉なるべし予等は御傍近く奉仕こそすれ御日頃の事などを他に物語るが如き事は宮內省に其の人ありて

畏き邊りの御日常など物語る事は不謹愼の事に屬し

畏れ多き事共なり官の出張等と異り畏き御使ひのことなれば歸著の上委曲伏奏を終へるまでは二六時中予の身體は予自身の物に非ざるが故に個人としての名に由つてだに勝手に自己の感想を述ぶるが如き事は相適はざる儀なり

●ベルダン攻擊裏の謎

獨逸政府の議會に對する政略

重砲千五百門＝口徑七吋九の新式銃

＝陸軍大學校教官古莊步兵大尉の談（その一）＝

明治四十四年から和蘭の海牙に在り情況觀察の爲め同じく海牙に駐在する陸軍少將川村正彥氏の下に各方面の情報に通じて居た步兵大尉古莊幹郞氏は今回レウマチスの爲めに陸軍大學校兵學教官と成つて一月十七日海牙出發露西亞を經て歸國の途七日入京同夜南大門驛列車で歸東の途に就いたが偶々記者と邂逅して最近歐洲交戰列國の情況に就き物語る何しろ中立國もすぐ獨逸、白耳義の隣國ではあり、問題の土地丈けあつて仲々興味深いものがある大尉は日く

昨今ヴエルダン要塞に向つて獨軍の襲擊が頂點に達し今尙盛に砲火を交え一進一退

■ドーモン分派堡

の奪ひ合ひに輸贏を爭つてる模樣だが此氣運は既に昨年十月頃から來てゐたらしく各方面から頻りに各樣の情報が來てゐた東方戰場から兵員戎器を移動しつゝあると云ふ情報は其頭から始められてゐたが予の出發前には既に重砲一千五百を西方戰場に運したと稱せられてゐた餘り其數が多いので嘘だらうと言ふ人もあつたが眞僞は之より分らない然し獨逸軍は西方戰場の何處に攻勢を執る積りなのかは分らなかつたが

■果然ヴエルダン

に突發して來た和蘭にゐると獨逸の事は他の國に比し無論よく分る併し瑞西の方が和蘭よりも尙よく分るだらうけれど瑞西からの情報も亦和蘭に來る大等の情報に據れば獨逸は仲々聯合國で噂されてゐる樣に疲弊困憊の極に達してもゐない戰鬪人員の數は是迄に可成り澤山の死傷者も出してゐるが尙百五十萬の新兵を出す餘力はあるらしい兵器は何と云つても國內に鐵を澤山持つてるので後から〱補充して行く事が出來るので

■聯合國に比して

獨逸も充分な餘力を持つてるらしい確かな筋の話だが佛蘭西兵が二萬發を打つ時獨逸兵は二萬五千發を放つ其れ位に獨逸は餘力がある噂に依れば副員の爲めに二百萬挺の小銃を準備してると云ふ其小銃は戰後改良した口徑七吋九の新式銃で征前のものより餘程大きくなつてる重砲にしても戰爭前とは餘程變つてるし火藥の改良にも大に苦心してると云ふ事だ當初聯合國は頻りに獨逸の兵糧に就て悲觀說が立てられ今にも糧食の缺乏に

■疲弊する樣な噂

であつたが現狀は其れ程でもないらしい殊に波蘭や巴爾幹諸邦に侵入して得た後は餘程息をつけたであらうと觀測される併し左ら決して有り餘るとは言へない先づ今の處食ふ丈けは有ると云ふ位のものだらう例の八ケ間敷い馬鈴薯パンと云ふものを瑞西方面から送つて貰つて食つて見たがなか〱死然木だ尤も製造してから可成りの日數も立つてはゐたが日本で云ふ麥パンなどの

■もつと〱固い

如い固い事と味の無い事は全く木を嚙む樣で所謂鰻を嚙むのは柔くある位だ尤もまだ取柄があるかも知れないだけでも其れで充分に食用に供する事は足りるだけの分析的素質は有るのだけれど到底も嗜好上から言へば食へたものじやない、然し製造してからこゝ二三日間ならば其れ程にも無からうと思はれた現に獨逸國內至る處「適當の條件でならば媾和してもい」と云ふ者へが瀰漫してゐるらしい（或る論者の言ふが如く如何なる條件に依つても

■媾和しなければ

ならぬと云ふ程の媾和論は無いらしい）獨逸では現に各方面共戰場に於ては優位にある併し經濟上から言へば戰場の如く優位にあるとは言へない同盟國が聯合國に對してひけをとつてるのは此點許りだ即ち此經濟的弱味が激しくなれば戰場に於ての活動が鈍くならされて行く譯である獨逸の恐るゝ處は其處にある即ち次第に其瀰漫缺乏を來さしめ其力を彌めやうとしてゐる經濟的悲觀說を打破るにはどうしても

■戰場に於る立場

を優位に置く必要がある來る十八日からは議會が開かれるが此議會で恐らく事が論じ出されるかは內外共に大に期待して居る事だが萬一戰場に於て吝嗇な味を持つてゐれば議會に於ても容論に窮する樣な事が惹起されて來るかも知れない其所で何か積極的に戰場に優位を占めて置く必要がある是れも人心を勢たしめん爲めにヴエルダン大突擊が開始せられたらしい

畝傍御陵御參拜

皇后陛下御先發

天皇、皇后兩陛下には來る四月三日奈良縣下へ行幸啓平安神宮並に畝傍御陵に御參拜あらせらるゝ旨公然仰出されざるも既に御內定相成り目下宮內省の關係諸員は萬般の準備に着手しつゝあり花笑ひ鳥謠ふ

▲陽春四月の候 鳳輦玉車を迎へ奉る關西地方の光榮や譬ふるにものなかるべく洩れ承はる所に依れば 皇后陛下には昨年以來の御宿營たる京都皇宮御大典の御模樣御首尾並に伊勢神宮御參拜等の御儀もあらせらるゝを以て宮城御出門は行幸に先立ち遲くも來る廿八九日頃を以て行啓遊ばさるゝことゝなるべく 皇后陛下には其等の御儀を滯りなく了らせられたる上奈良縣下の行在所に於て 聖上の行幸を迎へ給ひ此處に始めて御同列にて畝傍御陵並に平安神宮等に御親拜あらせられ還幸啓あらせらるゝ次第なりされば今回

▲行幸啓を仰ぐ地方は奈良縣を中心として京都府三重縣の一府二縣に及り之れ等各地方の官民一同の光榮云はん方なき次第なるがさりとて餘りに奉迎に地方民を煩はすが如きことありては却つて聖慮に悖る恐れあるを以て同地方の長官等は此の點に充分の注意を拂はれたしと宮內省の某大官は語れり

●英國勇士の軍刀寄贈

日本陸軍大學へ

過般佛國戰線に於て名譽の戰死を遂げたる英國陸軍中佐カースロツプ氏の持室は中佐が戰場に携へたる軍刀を記念として日本陸軍大學校に寄贈せり同中佐は英國大使館附武官として永く日本に駐在し日本武士道の讚者にして頗る親日家の一人なりしが今回の軍刀は四日日本に向け發送したりと（倫敦特電）

●青島視察記念會

昨年三月我社に於て青島戰跡視察團を組織せし際同團長に選はれし淺井鑛三氏及び阪倉伊平北島俗三大石李吉の四氏發起人となり當時の仁川團員十五名と共に八日午後六時より淺間に於て青島視察團記念懇親會を開き當時の追懷談に花を咲かせる由

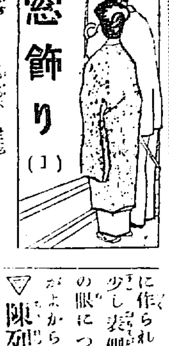
●洋畫研究會始まる

既報の如く古賀新銘氏は洋畫研究會を仁川新町商品支店の隣りに開始した五日の日曜を幸ひ一寸覗いて見た開始早々の事とて總ての準備は整頓して居ないが夫れでも二十何名といふ會員が二階六疊と四疊の間を打ち拔き通しにした日當りのよい部屋で頻りに畫を書いて居た其中には裁判所、稅關、觀測所の官吏や日本畫油の茂木支店員其他色々な人が集まつて居る大抵は素人で最初は水彩畫(鉛筆畫)圖形法、夜は木炭畫(裸の習力)古賀氏が手を取る樣にして敎へて居るが會員側の熱心な研究振りには古賀氏も感心して居る十日頃には石膏の模型が東京から到着するから此方の研究も始めると古賀氏は語りて居た

●仁川禁酒會設立

仁川禁酒會は六日午後七時仁川メッサスト敎會內に發會式を擧行し會の制定役員の選擧其他諸般の事項に就き協議する所あり來會者二十餘名にして午後十一時閉會したり

窓飾り（1）



眼に著き易い

【本町一丁目横山祥家具店】

誰れでも郵便局前から本町通りを行く人は、本町と旭町一丁目通りの

▽十字路に於て、その右側の街角に大きなショウヰンドを見るであらう『窓』の土臺は大理石で固め、間口八尺餘り『奧行五尺』の堂々たるものだが、商賈が洋家具屋さんだけに

▽天井なども檜で樂な非常に凝つて、中には充分の餘裕がとつてある、番頭さんの話でよると始め窓を店の左側部の街角の所につけようと思つたといふ事だが

▽道路の右側通行をやつて居る京城では今のやうに右側にある方がよいと思ふ、此の店はまた窓の左側なる出入口の店頭も金庫や

▽消火器で飾つてあるから外から見て全體が非常に氣持ちのよい感じを與へるやうである、又窓の裡には象嵌入りの楓樹と柏の緣で作つた大

▽鏡が立てかけてあるがこれは取付自由に作られてあるから今少し表側に向けて行人の眼につき易くする方がよからうと思はれる、

▽陳列品はリノリニームに五百段緞通を敷いた上にセ、ツシヨン式の茶托臺とヌーボー式の茶托臺とを左右にあしらひ、その上に手提金庫を置いた處も

▽立派な意匠であるが、文下に置かれた臘地材の持送りカアテン掛け、鑄物の紙拭きなども調和がよい、此の店は一般の御役所などをお

▽得意として餘り小賣商賈を爲ないためでもあらうが『全體に於て瀟洒たる店付であるのは嬉しいと思ふ。

若い時分

春になりました。學校の入學式も卒業式も近づいて來ました。その新らしく學校を出で、新らしく學校に入る少年少女諸君、及び其交たり保たり見たり姉たる方々のために諸名士の『若い時分』のお話を伺つて見ました。

□數奇の半生

＝日本基督敎會牧師　井口彌壽雄氏＝

活版小僧となる　苦學時代の追懷

私の少年時代は肥前島原の舊城址で蒔子を摘みながら遊んだものである、併し學校敎育は私が十二歲の年に家運が傾いた爲めに廢めて了ひそれからは商店の小僧、活版職工、輪轉兵、陸軍主計などと

◆いろ〱な境涯を送つた末今の身の上に落付いたのだ、今から若い時分を追懷すると全く獨立して苦學した憐れな話より他に何んにもなく殆んどおはなしする程の歷史もない、併し私は少年の時代から讀書する事だけは好きであつた、僅に十三四歲の頃長崎に出て或る商店の

◆小僧に棲み込んだ際の如きは暇さへあれば讀書して居たので時々大切なお客樣に對して『御座いまッせんは、い‼』を喰はした事が勘くなかつた、其の後或る活版屋へ奉公した際には活字を拾ひつゝ英語のA、B、Cを暗記したものだ其の後上京してからは全く夜學校に通うて勉強を續けた、毎時か私は

◆青年會夜學校の生徒諸君にお談した事であるが私の勉強は全部夜學校で敎はつたので中學大學などに於て晝間敎はる人に對しては羨やみとこそすれ一向同情が起らぬのである、其の頭私は殆んど生きるか死ぬるかといふ大決心で勉強したので或る時は數回咯血した事もあつた、併し私の身體は曾て

◆よう醫者に診せた事もなく友人に一言語へなでもなく其のまゝ平氣で暮らして居ると病氣も自然に治つたと見えて其の後目に一度も何の變りも起らない、陸軍に入つた頃の私は軍隊をまた立派な學校と思つて働行いをと感謝して居たから軍務の餘暇は一生懸命に勉強したものである、其の後

◆陸軍經理學校に入學して主計となつてから後も依然として勉強は續けて居たが、後ちにキリストを年の宿願たる牧師の身の上となつた次第、勉強はこれからだと思つて居るが一向下らない男でお話になりませぬ、尤も私は十月十日郷里の金比羅祭の日に生れたので

◆兩親は金比羅樣の申し兒だと悅んで吳れた相だが其の後戶籍面には十一月十日生れとあるので今度はマルチン、ルーテルと同じ誕生日に當る事となつた、處が昨秋曠古の御大典が矢張り此の日に執り行はせられたので愈よ私は惶こんで居る　今上陛下には軍隊に居て衞生隊で出征した時

◆拜謁仰付けられた無上の光榮を有つて居るので益々忠義を勵まねばならぬと固く信じて居ります。

▲此間の若草町の大火で燒け出された小學校の生徒が日之出の十九人を初めとして相當分路などにも隨分ある▲中には著のみ著のまゝで寒さの中に慄うてゐるのもあつたが同情といふものは有難いもので二三日經つと却て火災に罹つた前より小ざ張した衣服を著けて登校して來たのがあるさうな▲此の裡面には篤志の貴夫人などが暮夜竊に罹災の家族を訪うて襯衣手袋防寒具などを寄與したのも尠くない▲當夜の警官の働きの素晴らしかつたことは前にも書いたが川村と名乘る人の投書によると何でも其人は二人の警官によつて挪らん許りの勢で自宅から援み出された▲敗居を越した女と思ふと同時に瓦落々々と家が崩れた質に救命の恩人であると感謝してゐる▲消防手の紙若には人知れぬ苦勞がある夫れは夫の出先を何時如何なる時でも知つて居てイザ召集といふ時は逸早く報知せなければならぬ遲れゝば夫が罰せられる▲それから報知した上で直ぐに溫かい飯を焚いて著替の衣類を暖めて置かねばならぬ▲それが朝の二時でも三時でもやらなければならぬ並大抵でないといふことだ

第六回 新學期開講

漢 文 講 義 錄

（講師）會長 文學博士 服部宇之吉

[illegible]

（特色）

[illegible]

（學科）◎修身◎國語◎孟子◎孝經◎小學◎十八史略◎唐宋八家文◎日本外史◎國史略◎古文眞寶◎文章軌範◎唐詩選◎作文 新天地

講義見本付會則 電話葉書申込次第 無代進呈

此際入會者は大特典あり

東京市神田區西小川町二ノ三 大日本漢文學會 電話本局三七八〇番 本局五四四〇番

●模範的講義錄

京日案內

普通（一回前金三十錢〈無割引〉匿名一回毎に金五錢增）

◎募集 新聞配達人至急入用 希望者は本人直接來談あれ 京城本町二丁目 町田新聞舖 537

女事務員募集 能筆家を望む 自筆履歷書携帶の事 京城太平通二 商業銀行前 鮮債券部 580

◎店員入用 洋家具商に年齡十五歲迄數名 …… 532

◎札幌大學 品付代價表進呈 北米通 札幌農科大學前門 367

▲古本賣 ▲御報即時參上 ▲地方即時送金 書店 560

▲乳母至急入用 身體强健なるもの 京城本町電話二五二七 571

▲古本買 ▲御報即時參上 ▲地方即時送金 560

▲ぢ・うちみくじき治療 ◎明治町フランス敎會門前 ◎電話二五九五番 希望者は 荒川仁壽堂 563

▲看護婦及見習生募集 履歷書携帶午前中本人來談あれ 京城壽町 山田醫院 577

◎山葉オルガン ヴアイオリン直輸入 鈴木ヴアイオリン 京城本町二 勢山樂器店 電話一五八四 578

◎商店雇入れたし 詳細面談（姓名在社）579

番外（一回前金六十錢無割引 匿名一回毎に金五錢增）

◎古本品拂底に付無比高價買入 御一報次第即刻參上 ▲京城本町四 書肆 群書堂 565

外勤社員招聘 經驗の有無を問はず 希望者は自筆履歷書携帶來談 京城黃金町二丁目 共保生命保險京城出張所 570

自轉車 ▲ダイヤ修繕 ▲保險附自轉車直輸入 京城南大門內側 トチ商會 583

▲漢江船運開始 漢江沿岸荷客扱 龍山元町河岸 西村商會運送部 電話五九番 584

牛車取扱所 京城北米倉町電話二九二 駄馬代理店 春川西村出張所 ●藥房 ●驪州牧溪 李秀煥 ●楊平 藤原商店 585

恩給年金公債買入 ◎櫻井町一大正館向 電話一二三一番 博多屋 581

好職 男女誰でも出來る事業 利益多大 美術ゴム事業 …… 573

外勤社員招聘 經驗の有無を問はず 希望者は自筆履歷書携帶來談 京城黃金町二丁目 共保生命保險京城出張所 573

向貸家 京城吉野町一丁目 宅地住家の新築貸家 …… 518

皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 電話二一〇二番 551

恩給 年金 …… 西村商會 電話二三六三番 576

千生瓢 (147)

須藤南翠作 筒井年峰畫

零れ苗 (一)

柴田既に亡び、佐久間は誅に伏し、三七殿生害に及び、瀧川面縛して降を乞ひ、秀吉の怨敵悉く地を拂つて天下は一に歸した如く思はるれど、越中には佐々あり、四國には長曾我部あり、關東には北條ありて、[illegible]の覇權を[illegible]、佐久間[illegible]、同[illegible]勝政は、

焦し、渦巻きのぼる黒煙の、傾く日の光りを隠して、世の末見する夕であつた。城の不明門を潜り出て、敵なき路に身を忍びながら、覺束なく辿り行く女房一人、時に急ぐ夕暮の路に[illegible]まれて、今來し方をふり返るに、空に沖る炎の天守は、今火の柱となりて、天地の間に聳立すたる、積力の[illegible]が焼け朽ちたのか、[illegible]散るを見て、[illegible]

たは、斯うして歎けとの御意ではない、大事〳〵の御遺言を、傳へ參らする爲であるのに、若し誤つて、敵の端武者に見咎められたら、泉下の佐野の殿の御恥ばかりではない。幸ひ人の居ぬをこそと、四邊を看廻して、裹を脊中にしかと負ひ、落たる髪を深く頂き、杖を力にとぼ〳〵と、何處定めず立ち去つた。

されど、奥殿深く宮仕へした世間知らずの婦人であれば、固より道の[illegible]ながらも、踏みも知らぬ山路である。殊に[illegible]内敵軍充ち滿ちて、行方〳〵を塞がれたれば、[illegible]かねて、此處に三日、彼處に五日、身を忍びて宿る程に、[illegible]も乏しくなり、[illegible]

斯うなつては、敢て[illegible]如く、見る影もなく[illegible]軒端一つ貸す者もない。此方を逃げ出で、[illegible]田屋の[illegible]に身を休めて、[illegible]村まで來た時は、[illegible]を見て、[illegible]おどろ〳〵しく成り果てたのであつた。

かゝる姿を見識つては、人に逢ふのも面伏せながら、問はで濟むべき事でないので、道行く人を呼留め「もうし、物を伺ひます」と申しますると、まだ餘程ござりませうか。

其人三歩ばかり飛退つて「幸若村はもう此處ぢや。」

「おゝ、此處が幸若村でござりますか。さらば舞々の七九郎殿、御存じならば教へてたべ」と、佐野は突と走せ寄つて、其人の袖を捕へた。

紀伊の高野山に潜伏し、那賀郡根來寺に籠もつて、粉河寺の三綱法師と謀を通じ、陰かに浪人猶を糾合して、時機の熟するのを待つてゐる。耳に金鼓の音を聞かず、目に劍戟の光を見ずとも、秀吉なる者、未だ一日も安心を許されず、枕を高うし、足踏伸ばして、曉知らぬ長い眠を貪ることは、なか〳〵思ひも寄らなかつた。

その一人に數ふるには、餘りに微力弱體にして、大象の前の蟷螂とも見えるであらうが、是れも柴田のこぼれ苗、鋤を脱れて芽を抽で、若葉の露の置きかねた身を、獨り憐れむ孤兒があつた。北之庄炎上の焔の、ただよふ空を

あつた。

女房は之を見ると、氣も心も狂はしうなつて、大地に摚と倒れ伏し、身を顫はして泣き叫んだ。

南無正觀世音菩薩、あはれ大悲の慈みを垂れて、修羅の苦患を救はせ給へ。今燒け落ちた天守の内には、殿の御亡骸在します。御臺樣御亡骸在します。縱令御亡骸は茶毘一片の煙と化するも、御魂魄は功力に依つて、安養淨土へ導き給へ。南無正觀世音菩薩——

彼方を拜み、此方を拜み、只一心に祈念して、倒れ伏して泣いてゐたが、山寺の鐘に驚かされて、涙の砂をうち拂ひ、やう〳〵に身を起して「それ、それ、殿の此身を落し給はつ

讀者の領分

▲貴社新聞三千號の經紀を祝し併せて貴社の隆盛を祈る(光州姫野呈次郎) ▲拙老は此程火事跡を弔ふ爲めに採の手で出掛けました處が若草町の或る店に貼札があるマテヨ之れは何んだと眼鏡を拭つて讀んで見ますと『過日出火の際當店へ持込荷物の中左の品々が未だ御引取のお方無之に付御心當りのお方は御來店相成度候一、細入男物二枚一『男ジユバン』一枚一、稚子ハカマ一著一『男帶』一筋』(公德翁) ▲御尋ね生に答ふ明笛の手入法としては時々清水を通し後水氣を拭き取り火氣を以て乾かす位のものハモニカの手入法としては吹く前には必ず口中を清潔にする湯水を以て含嗽するを要す(慶翁)

良妻賢母

●女子の本分

▲禮儀作法を知らねば女一生の恥
▲家庭料理の出來ねば女一生の損

▲西洋料理 [illegible]
▲支那料理 [illegible]
▲和洋菓子製法 [illegible]
▲漬物の漬方 [illegible]
▲板垣伯夫人長發行 [illegible]
▲年中行事と料理 [illegible]

座禮の圖

▲禮儀作法・家政學 [illegible]

▲日本料理 ▲家の内政を掌る人の是非心得べき事を詳細に説明す。▲各種會席料理 ▲三汁八菜 ▲三汁七菜 ▲二汁五菜 ▲一汁三菜等の日本固有料理を始め一般家庭向惣菜料理。▲一汁五菜 ▲御席料理 ▲晩酌料理 ▲季節飯の炊き方 ▲老人小兒 ▲嫁入りの心得 ▲本膳の喰べ方 ▲日本食膳作法 ▲西洋食卓法 ▲季節と場合とに依る男女著衣の心得 ▲人を訪問する心得 ▲來客に應接する心得

▲今回新學期開始 [illegible]

▲入會手續きは [illegible]

▲四大特典 [illegible]

▲内容見本と規則書 一見したき人には申込次第無代進呈しつゝあれば遠慮なく申込まるべし

東京本郷元町一ノ三
東京割烹講習會へ申

同會振替口座東京一九四一〇電話下谷五六九二なり

愛妻を戰場に呼ぶ

生殖は男子最大の任務

有史以來の大戰爭が歐洲に始まりて[illegible]

美人と乞食

姓名の文字の恐ろしき祟り

櫻花滿開の春はやがて若葉の夏となり、紅葉の秋となりて銀世界の冬となる。[illegible]如く人々の運命に相違あるは皆是れ姓名の文字の吉凶より來るものにて[illegible]

(林充胤先生)

姓名の文字により人の將來のことを恐るべき不幸に向はしむる

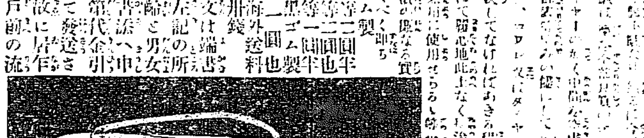
[illegible]姓名寶典に依れば人の姓名の文字により四柱將來のことを記述せられたり、今申込めば其人一代の運命より本年中の吉凶を詳細に鑑定し同時に先生の秘法を公開せる命名寶典一冊を無代贈與する由なり

現に東京牛込區築土八幡町二十番地林充胤先生著「姓名判斷」は御注文は命[illegible]

總ゴム下駄

新發明 [illegible]

白ゴム製 特等二圓 同二等二圓五十錢 同外一等ゴム製一圓也 外に金一足に付 御注文は端書にて左記へ 別に發送の次第 [illegible]



形は下駄の種類一切あり

發賣元 東京麻布坂下町 精行社

梅毒

恐しき毒蛇よりも

[illegible]

自宅療法

[illegible]

無代説明 ハガキにて申込め詳細なる説明書無代郵送す

東京市本所向島小梅町 東京藥化學研究所

慢性 胃腸藥

△東京青山原宿[illegible] 高田製藥所 [illegible]

死まで 痔疾を捨て置くこと

痔疾は頗る危險の疾病なれば[illegible]久間町一丁目三番地上山銳彦氏發見に係る痔疾専門藥を以て治療せよ其效顯著なり詳細は返信料添へ同所に申込めば藥治療法一切を懇述せる説明書を無代贈與さるべし

洋式帳簿

現在品として四十餘種あり 一種に小判中判大判の大小頁數の多寡共に御撰擇自由にして優等なる紙質に鮮かなる罫線の美 加ふるに裝釘の堅牢を期せんが爲に隱れたる工作の苦心は自然に其特長を發揮す 實費郵税貳錢封入罫線目録を御請求あるべし

東京銀座 伊東屋 電話京橋 長七三四番 八六四番 九四二番 振替口座東京五一一一

自動車發時間表
全泉間 [illegible]
▲全泉 織居自動車支部 (架設中) 全泉電話四六番

佐野洋行
寫眞器械 材料及藥品 直輸入商
コロタイプ印刷
大連市大山通 光明洋行寫眞部改め

日本郵船仁川出帆

○三河丸 大連、大沽、牛莊行 三月廿一日 正午出帆
○相模丸 同 四月四日 正午出帆
○高砂丸 大連、大沽行 三月十二日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十二番 [illegible] 回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 三月廿一日 後五時出帆
○元山清津油國行 神丸 三月九日 後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 三月七日 後五時出帆
○元山、城津、油國行 小倉丸 三月十六日 後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 三月十日 後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 三月十九日 後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 兵丸 毎月二日九日西日廿一日廿六日 午後十時出帆

本船取扱店 釜山本町 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 三月 日 後四時出帆
大有丸 三月 日 後四時出帆
神代丸 三月 日 後四時出帆
蛟龍丸 三月 日 後四時出帆
君が代丸 三月 日 後四時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 宮島丸 三月十五日 午後五時出帆
油頭丸 三月十二日
天智丸
○木浦、釜山、長崎行 安東丸 三月十一日 午後二時出帆
城津丸 三月十九日
○鎮南浦、大連行 安東丸 三月二十日 午後二時出帆
城津丸 三月八日 正午出帆
○大連直行 潮州丸 三月廿五日 正午出帆
福州丸 三月十日
○群山、釜山、横濱行 潮州丸 三月三十日 午後四時出帆
福州丸 三月十六日
○清津、浦潮行(元山出帆) 須磨丸 三月廿七日 午後二時出帆
北智丸 三月十七日
臺智丸 三月廿二日
▲上海、基隆、打狗行(大連出帆) 安平丸 三月十六日 午後四時出帆
新高丸 三月廿四日

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番二〇番五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番

(京城南大門通三丁目) 商況

大阪株式特電

京阪電鐵 南海山紡 合同紡績 鐘淵紡績 同上新株 東洋紡績
六四、六〇 一五四、三〇 一二六、〇〇 [illegible]

大阪三品

▲七日後場
三月限 二八八、五〇 [illegible]
四月限 二八九、〇〇 [illegible]
五月限 二九〇、[illegible]

仁川米豆取引所

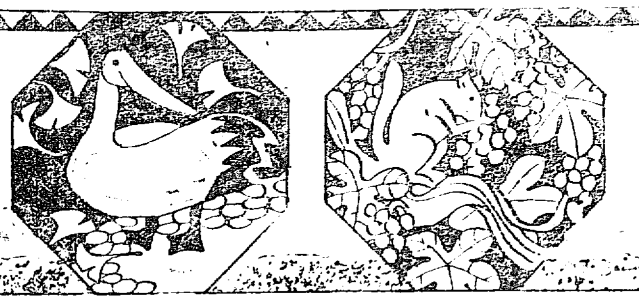
後場當限寄付十三圓二十五錢止め二十五錢△中限寄付十三圓四十六錢止め四十一錢△先限寄付十三圓六十八錢止め六十一錢

▲後場の手振り と押したるも結局六錢と大激戰裡に散會 [illegible]

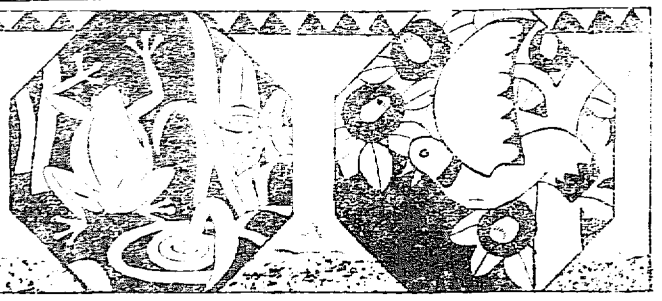
▲(下)の買ひ向ひ [illegible]

[illegible]

高値 安値 出來高 [illegible]



祝三千號



戰爭と經濟 ―代表的人物の代表的警語

左に掲ぐるは最初の二名を除いては皆現在の歐洲大戰亂に對して各國の代表的名士の最も愼重なる思慮に成れる演説の一節なり。

□道德的配劑　グラッドストーン

戰爭の經費は、幾多の國民が通有する征服の野心と貪慾とを抑へんが爲めに、天の與ふる道德的制止なり。戰爭には華やかなる外觀あり、虛飾あり、榮譽あり、興奮あり、故に其の惹起する災害の大なるに拘らず、社會の俗眼を眩惑し人をして恐るべく且危險なる程度にまで戰爭の害惡に關して盲目的ならしむる傾向あり

□決戰の動機　ブロッホ

軍人の時代は去りて經濟家の時代は來りつゝあり……若し歐洲の列強が互に干戈を交へざるを得ざることあらば(是れ天の禁ずる所なり)、其の爭を決するものは大決戰にあらずして、缺乏の壓迫、食料の不足等、一口に言はば、大戰爭が現代人類の複雜なる文明狀態に及ぼす當然の影響たる經濟上の結果たるべし。

□最後の數億磅　英國前藏相　ロイド、ジョージ

余の判斷によれば、最後の數億磅は英國をして戰勝者たらしむるを得べし。是れ余の意見なり。最初の數億磅は吾人の敵も吾人と同じく之れに堪ふるを得るも、最後の數億磅は彼等の堪ふる所にあらず。故に余は思考す、金力は吾人が今日想像し得るよりも今後益々重きを加へむとすと

□劍鞘に入の時　英國首相　アスクイス

白耳義が其犧牲に供したる有らゆる物及び其れ以上を充分に回復するまで、佛蘭西が攻略の威脅に對して有効に保障せらるゝまで、歐洲諸小國の權利が侵犯せられざる基礎の上に確立せらるゝまで、及び普魯西の軍國的支配權が全然最後の打擊を受くるまでは、輕々しく拔かれざりし吾人の劍は斷じて鞘に納められざるべし。是れ大國民に値する一大事業なり(千九百十四年十一月九日倫敦市長の公宴席上にて)

□比類無き要求　英國首相　アスクイス

來年度(千九百十五年四月後)の初に於ける陸海軍費の總額は一日百九十萬磅に上り、尚益々增加する傾きなり。……顧みれば千七百九十三年より千八百十五年まで二十餘年間繼續したりし大戰爭の總費額は、最も信據すべき計算によれば、約八億三千萬磅なりき。又クリミア戰爭は一切の出費を合算して七千萬磅の軍費を計上せられ、千八百九十九年より千九百二年三月三十一日まで繼續したる南阿戰爭の戰費は、當時議會に提出せられたる報告によれば、合計二億一千一百萬磅なりき。されば今政府が此の軍費豫算案を議會に提出するは、英國の歷史上、國務大臣が下院に提出したる何の支出豫算に比較するも、類例なき大要求にして、實に其額の大なるのみに非ざるなり(千九百十五年三月一日下院に於ける演說の一節)

□死乎然らずんば　英國外相　サア、エドワード　グレー

吾人の望むところは、歐洲の國民が其の大國たると小國たるとに論なく、各自由に其の政體を營み、彼等自身の政體を運用し、又彼等自身の國民的發展を遂げんことに在り。是れ吾人の理想なり。然るに開戰以來獨逸の大學敎授及び評論家により言ひ現はされたる獨逸の理想は、獨逸人を以て一の優越なる人民と爲し、彼等の勢力を發んが爲めには如何なる事も適法なりとし、又彼等に抵抗する行爲は何事も不法なりと爲す。即ち其理想は獨逸人をして歐洲諸國民に對する支配權を把握せしめ、各國民の自由を奪ふて一に獨逸に隷屬せしめんとする一種の平和を設定せんとするに在り。余は斯かる平和の下に生活せんよりは、寧ろ死するか、或は歐洲を見捨てゝ去るの勝れるに若かざるを思はずんばあらず。

□絶對の正義　米國大統領　ウィルソン

個人としても、他人と闘ふには餘りに高慢なることあるが如く、國民としても、武力を以て其正しきを他に知らしむるの必要なき程に、爾かく正しきことあり。(千九百十五年五月八日費府に於ける新歸化民大會席上演說の一節)

□大國たる所以　佛國大藏卿　リボー

偉大なる國は其の所有する國債及び投資に依りて活くるに非ず。實に勞役と勸勉とに依りて活くるなり。其の輸出し得べき資本の豐富なるは則ち國富の表徵なりと思ふは悲しき誤なり。若し其の事業上の設備、企業的精神及び輸出を發達せしめずんば、却つて自ら貧窮に陷らむ。(千九百十五年五月七日代議院に於ける演說の一節)

□眞善の行爲　英國藏相　マッケナ

戰爭は久しきに渉るとも吾人の前には將來の在るあり。戰時中に於て深慮と儉約の法則を無視する結果、將來復た起ち難きに至らんことは吾人の欲せざる所なり。故に現時の國用に對して資金を供する者は眞に善行を爲す者にして、其行爲は自己を益し併せて其の資を投ずる國家を益する者なり。(千九百十五年六月二十一日下院に於ける演說の一節)

□禁酒の福音　露國藏相　バルク

財源は增加せり。銀行の預金、當座勘定は昨一年中に十六億留の增加を示したり。貯蓄銀行及び貯金局に於ける現金預入の增加額は、近年まで毎年四千萬乃至五千萬留なりしが、現在は一箇月に五千萬留なり。是れ畢竟にアルコール(火酒)禁止の結果に外ならず。(千九百十五年八月一日露國議會に於ける開戰一周年記念演說の一節)

□兵士よりは武器　英國軍需大臣　ロイド、ジョージ

今日の戰爭は技術家の戰爭にして、其の勝敗は技術家の努力と否とに由つて決せらるべし。吾人は兵士を要するも、兵士より更に必要なるは武器なり。而して武器の製造に於ける遲延は吾國にとりて危險此上なし。

□對獨逸政策　伊太利內閣員(無任)　バルジライ

獨逸は平和的植民を成就せんが爲め資本を以てせずして、洪水の如く其生產品と其の人民とを以て伊太利に押寄せたり。最近十二箇年に於て伊太利に於ける獨逸品の輸入は十九割七分方の增加を示せるに反し、獨逸に於ける伊太利品の輸入は僅かに四割を增加せるに過ぎず。故に我國の政治上の發展と共に引續きて我が工業上の發展を實現せしめざる可らず。(千九百十五年九月二十七日テーノルスのサン、カルロ座に於て閣員列席の際演說せる一節)

□中立國の分擔　米國ハーバード大學總長　ローウエル博士

縱令戰爭は、戰場より充分に隔りたる中立國に於て、一時商工業を刺戟し、爲めに經濟界の景氣を引立つることあるも、遂には之が代償を支拂はざる可らず。而して世界の文明國は結局之が損失を分擔するを避け難し。斯の事實は戰爭が大いなれば大いなるほど益々眞實なり。

□敵者の違算　獨逸帝國藏相　カール、ヘルフェリッヒ

鞏固なる國民經濟無くば鞏固なる財政は得て期す可らず。而して幸にも吾等は鞏固なる國民經濟を有す……敵は吾等の外國貿易を杜絶して以て吾等を悲慘なる滅亡に陷れ、恰かも水を離れたる魚の如くせんことを望みたるも、然かも此の打算は違算なりき。彼等は我が獨逸が堅忍なる肉體的及び精神的努力により、又政府の經濟政策の保護の下に內地に發達せしめたる生產力が、優に獨逸國民を給養し、又其の活動を支持するに足ることを看過したり。(千九百十五年三月十日帝國議會に於ける豫算演說の一節)

祝三千號記念
家庭內職生大募集急告
最新好內職
弊店は朝鮮に於ける護謨品製造界之元祖で日增販路擴張需用者の滿足を滿たす能はざるの盛況に至り今や第三回之內職生を募集す本業は新案美術ゴム製造業にして土地之遠近山間僻地を問はず老幼男女[illegible]……各タイヤ製造法無料傳授す▲各道府郡に一名限り特約店募る
京城府黃金町四丁目(黃金遊園地前)
日之出ゴム商會
電話二六五二　振替口座二五九九
營業科目　ゴム玩具品一式　ゴム原料藥品一式　各タイヤ修繕機械　直輸入元

祝三千號記念
鐵道鑛山土工用具
和洋建築金物
洋鐵　鋼
平板　浪板　鉱力板
水銀　機械用
京城南大門通四丁目
(ト)德本京城支店
電話長二四〇番　電略(ト)又ハ(トク)

登錄商標　登錄商標
謹啓各位益々御清穆の段奉欣賀候扨て今般英國倫敦コンビン會社より(戰爭の難を冒し)多數の舶來車入荷仕り候間自轉車會を設け一大勉強を以て販賣仕り候間何卒至急御申込相成度御願申上候
コンビン　A號　純良なる高級車にて紳士用なり
クラブ　A號　純粹な舶來車德用な實用車なり
京城南大門通り五丁目
京城　横山商會支店
電話一八七五番　振替口座三三〇四番

祝三千號記念
米國紐育州シラキウス市エンゲルバルグ精穀機械製造會社東洋總代理店
諸機械直輸入販賣
京城　曾我商店出張所
京城南大門通五丁目十九番地　振替貯金口座京城八九七番　電話二一六八番

祝三千號記念

京龍著名時計店

京城本町二丁目三番地　時計貴金屬商　松林時計店

各國時計自轉車蓄音器　直輸入卸商　京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電話一〇一五番　振替口座七八二

京城明治町二丁目三　金銀美術製作　富士屋　磯貝武次

各種時計及附屬品　貴金屬寶石入指環　金銀赤銅緣眼鏡類　双眼鏡類寒暖計　寶飾徽章寫眞類　並に迅速入念修理　京城本町二丁目　三浦天龍堂　電話一〇〇二番　振替京城三〇四　店主　三浦覺馬

時計材料器械　貴金屬製品　眼鏡類卸商　植村支店　山岡龜太郎商店　京城黃金町一丁目　電話一三四八番　振替京城三一一番

京城本町一丁目郵便本局前　中村時計店　電話一一一七番　振替口座三四六

技術本位修理專門　時計各種　測量器械　樂器各種　諸器械　電氣器械　理科器械　タイプライター　寫眞器械其他　京城本町二丁目三番地　笠井時計修理所　電話取次一三六番

美術貴金屬品製作　京城本町一丁目　高木勇　電話九九一番　振替九〇〇番

各種時計及附屬品　寶石入指輪眼鏡　貴金屬美術品類　御注文品は御好に應ず　京城府本町二丁目　木島時計舖　電話一三九番　尚時計修繕は入念迅速に可仕候

金銀各種時計　蓄音機及香譜　眼鏡指輪寒暖計　龍山漢江通郵便局前　天眞堂　電話龍山五六二番　振替京城四四四番

各國時計　貴金屬　眼鏡類　美術品一式　商　京城南大門通三丁目　石川時計店

各國時計眼鏡並に附屬品類　京城南大門通三丁目　明治堂時計店　電話取次九五三　尚時計及び修理は迅速入念に可仕候

各國時計　美術品　京城本町　田中兄弟時計商會　電話二五七番

各國時計　金銀眼鏡　寶石指環　美術裝品　貴金屬商　京城本町一丁目　平井動資堂　電話二三〇一　振替京城二六二

各國時計類、貴金屬製品　眼鏡類販賣並に調量製圖　觀測器修繕　京城本町三丁目百二番地　市川啓藏　電話一一〇五番

貴金屬美術品一式　製作販賣　吉川金光堂　店主　土橋珍松　京城本町二ノ二　電話一五二一番

各國時計及附屬品一切　貴金屬眼鏡指環寶石類　美術品製作　京城太平通二丁目　向井時計店　電話二四二五番

貴金屬品　時計　眼鏡　指環　金銀盃　牌章類一式製作業　京城本町　金銀屋　電話二二四九番

印度の讀書界を熱狂せしめたる 小說シババグヤムの梗槪

■本書は全篇六十四頁の長文悉く金玉の文字
■教訓的讀物として敎科書に採用されんとす

玆にナルサミと呼ぶ少年あり家貧にして學校に拂ふべき授業料なきを悲みトリチノポリに近き一寺に詣で一心に祈願をこめ居たりしが、折柄通りかゝりしチネベリーの富豪カンシナサ、ムダリアル氏ふと、此少年の熱心なる信仰に心動かされ暫時見まもり居りしが、やがて此少年に近よりて事情をたゞねしに、今は斯く零落れ居るも、高貴なる生れなりとのことを知り親許に乞ひて、此少年を連れ歸り充分敎育をなし終に彼の獨娘と結婚せしめたり、然るに此恩ある妻は身體虛弱にしてナルサミが辯護士として世に立ちし後も常に病床に親みがちなるため、ナルサミが世に時めくに引かへて家庭はむしろ陰鬱なる日を送り居たり、賢き彼の妻は此事情をよく知るものから、我身の病氣をいたく悲むのあまり我身を亡きものにし夫に第二の妻を迎へしめ以て幸福なる生活を送らしめんと決心し、夫の歸るを待ち居りしが、一日スリランガムに行く途中カドベリ河に投身したり、されど幸か不幸か死に至らず遙河下の岸邊にたゞよひつきぬ、やむなく再び汽車に乘りてマドラスに落きしも、思へばかなしき事限りなく、切めてカンダスワミ寺院に詣で祈念を凝らさんと行く途中、エス、ウアイデヤ商會の前を通りかゝりし時、此處に開かれしラマヤナムの說敎に足を止めたり、折柄側に座を占め居りし一婦人は說敎中も彼女のせき入るを見兼ねて美はしき丸子を四五粒取り出し、『之れは仁丹と稱する靈藥にて凡ての病氣に驚くべき偉効あるもの故、絕えず服用する時は身體健全となるべし』と敎へぬ、翌朝彼女はいさゝか良き樣覺えしまゝ、自身仁丹を求め歸りて服用せしに病氣次第に癒り終に心身壯健となれり、彼女の喜び例ふるに物なく、直にスワデサミトランに廣告して前の夫ナルサミに結婚の申込をなせり、一方彼女の家にては親戚集りて河を搜索せしも、死骸を發見する能はず泣く〱式を營みし處にて、ナルサミは此廣告を見て、容貌其他逝ける妻にいたく似通へる事を知り追懷の念に堪へず、遂に此求婚の婦人ハヂハムビカイを第二の妻と迎へぬ。かくて二人は樂しき新生涯に入りしがナルサミは彼女が逝ける妻と間違ふ程似通へることのいみじきに、ありし昔の事ども思ひ浮べて愛情いとゞ濃やかに、妻も夫の愛にほだされてこゝに眞實を明し二人倶に樂しき日を送りたり。

今や印度に於ても仁丹の信用と勢力は如斯偉大也

小說シババグヤムの著者 セスラマ、アイヤー氏と愛姪

(上記小說の原書を縮寫したるものにして全篇六十四頁あり)

印度風景
(上記小說に現はれたるカンダスワミ寺院)

朝鮮農業振興策

農事の改良に興味を感ぜよ
朝鮮人大地主の發奮を望む

總督府技師　中村彥氏談

農業は朝鮮に於ける產業の主腦にして、之を生業とする者總人口一千五百萬人中八割の多きに達し、生產物の價額三億萬圓を越え、金銀地金を除ける輸移出品總價額三千萬圓の中米、大豆、牛皮、棉花、生牛、繭等各種農產物の輸移出價額は其八割を占め貿易の消長は一に農產の豐凶に因るの實況に在りて、農業の振興を計るは朝鮮の富力增進上最も緊要のことに屬せり。本年頭に於ける總督の諭告中『朝鮮に於ける施設の急務一にして足らずと雖も、農耕の改善より先なるは莫し。』と聲明せられたる所以亦茲に在り。山來總督府は農事の改良發達に對して比較的多額の經費を投じ勸業模範場、道種苗場等の如き幾多勸農機關の施設に盡せるのみならず一面に於ては

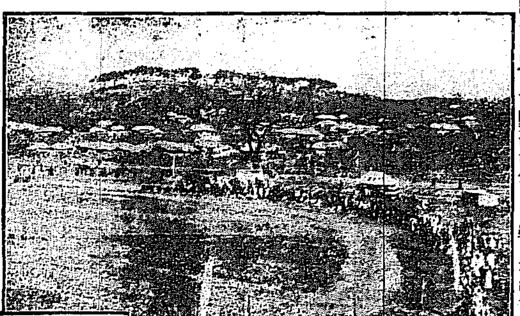
▲朝鮮四大農產 たる米作、棉作、蠶業、畜牛等の獎勵に關して數次訓令を發し、或は米、棉、繭の輸移出稅を撤廢し、或は國有未墾地利用法、水利組合條例、狩獵規則、害蟲驅除豫防規則、果樹櫻樹等の輸移入禁止、米穀檢查規則、獸疫豫防令、朝鮮重要物產同業組合令等諸法規の制定を見たり。而して將來に於ては施設益々完備を告げ、農產物亦數年ならずして五億を算するに至るは毫も疑ひの餘地なき所なるも、施設の完備と共に其効果をして遺憾なく之を發揚せしむるには一に農家の發奮努力に俟たざる可からず。齊しく農民と謂ふも經營上の收支相償ふを得ずして年々負債を繰り越し居れるが如き小農に對しては假令發奮するの所ありとするも未だ以て大に其改良發達の目的を達し難きは勿論なるが故に之に就きては是非とも大地主の奮起を促さゞる可からず。昨秋開催せられたる始政五年記念朝鮮物產共進會に於ける內鮮人大地主の

▲農業經營成績 に徵するに優秀なる地主が農業の改良に盡せる各般の事業は孰れも豫期の成績を舉げて其居住地附近に於ける農業の發達を促進し効果頗る顯著なるを認めたり。今之等の地主が如何なる事業を經營せしやを見るに左の如し

一、優良米種普及の爲め原々種畓、採種畓を設置せること
二、米穀乾燥調製法を改良せること
三、製莚圃、稻扱器、籾摺臼、石拔唐箕、石拔篩等、其他各種の改良農具を使用せること
四、水田に於ける二毛作をして綠肥又は麥を栽培せること
五、施肥を增加せること
六、新手の增殖に努めたる事
七、蠶業を獎勵せること
八、小作籾、豆粕の品評會を開催せること
九、優良小作人を表彰せること
十、共同的思想を涵養せんが爲め小作人組合を設置し且其優良なるものを表彰せること
十一、舍音取締規定を設け優良舍音を表彰せること
十二、低利資金を貸附せること
十三、桑苗、蔬菜、果樹、桑樹の模範栽培を開始せること
十四、蠶業傳習所を設置し優良蠶種の製造に努めたること
十五、荒蕪地を開墾せること
十六、水利を改善せること
十七、雇人をして漸次獨立せしむること
十八、模範農場、苗代の集合、採種法の改良、稗拔、雜草、除草の勵行、病蟲害の豫防驅除、綠肥の栽培、米穀乾燥調製の改良、肥料の製造、改良農具の使用、耕牛の增殖、養蠶、蠶事改良、貯金、勤儉貯蓄、風紀の改善等――を設置せること

▲內地人大地主 は朝鮮人大地主に比し其數甚だ少しと雖も右に列舉せる各般の事業を遂行せるは內地人に多くして朝鮮人に稀なり。近時朝鮮人大地主にして農事の改良に興味を感じ漸次之れを計畫する者あるに至れりと雖も、其數未だ微々たるを免れず彼等の多くは何等顧みる所なき實況に在り。前述の如く當局の施設如何に完備を極むると雖も、之が實際的効果を發揚す可き農民乏しきに於ては其結果を齎らすこと充分ならざるを以て、內地人大地主に對しては今後益々力を農業の改良發達に盡さむことを希望するは勿論なるも、數に於て遙かに多きを占むる朝鮮人大地主に對して

▲其發奮を希望 することと更に切ならざるを得ず、殊に朝鮮人大地主の多數は京城に在住し、自己の所有農地に關する智識甚だ乏しきを常とするが故に、一層之等大地主の注意を喚起せんことを翹望する次第なり。若し夫れ何等かの理由に依り自己の農地を踏查する能はざる者に至りては速に其使用せる舍音を召集して農事の改良發達に力を用ゆる樣慫慂し、時に舍音に對して其農業的知識を向上せしむ可く適當の人士を聘して講習會を開く等相當の方途を講じ、今春より假令些少なりとも改良事業に着手するに至らむことを切望す。是れ總督の諭告に應ふる所以なると共に又地主自身の幸福を增進する所以にして且つ時勢の推移は永く舊態に甘ずるを許さゞる可し。農業振興策は素より一にして止まらずと雖も、朝鮮現下の狀況に於て最も急務と認めらるゝ振興の方途は、內鮮人大地主を舉げて農事の改良に興味を感じ、施設甚策以て之が遂行に努めしむるに在ることを信じて疑はざる也



十年間に於ける我社主催の重なるもの
―龍山練兵場に於ける自轉車競走會―

朝鮮に於ける商業取引（三）

京城商業會議所調查

▲雜貨商

（一）、鮮人間の取引方法

卸商が小賣商に對する掛賣は信用又は通帳を使用して取引を爲し毎月末日に計算す、往々小賣商の信用に依り約束手形を徵することあるも極めて稀にして期間は普通三十日內外とす、特に各市場に於ける卸商の小賣商に對する掛賣は其日の朝に現品を渡し其日の夕方に取立つる例にして、若し代金の殘額ある時は其の翌日に返濟するも結局取引の結果勘定未濟の分を殘す場合は其の年末に之を決濟する也、小賣商が消費者に對し取引を爲す時は地方には代金引換を以てし稀に掛賣を爲す場合には別に證書を入れずして信用取引とす、之は每月末日に計算する例なるも間々每把守に計算する特約の取引先もあり

（二）、內地人と鮮人との取引方法

內地人の貿易商と鮮人の卸商との間に於ける商が鮮人の小賣商に掛賣をなしたる代金は多取引は現金賣買の外何れも支拂期間三十日乃至六十日間の約束手形を振出す、內地人の卸額の分は支拂期間一箇月以內の約束手形を振出さしめ、少量の物品にして通帳を使用したる分は每月末日に支拂ふ

內地人の小賣商が鮮人の消費者に對する掛賣は每月二十一日及び三十日に收入し別に證書を差入るゝことなく信用取引のみなり

（三）、外國人と鮮人との取引方法

支那人との取引可なり多額なるも一般に現金賣買にして、特に信用取引を爲したる場合は每把守に之を支拂ふ、與貢品に限り一箇月以上二箇月以內の期間を以て約束手形を振出すことあり

▲煙草商

一、鮮人間の取引方法

卸商には左の三種あり

（一）、葉煙草の卸商は問屋即ち客主にして直に寧越、清州、成川等の各地方より貿易商の持ち來るものを現金又は支拂期間三十日以內の手票、手形等を振出し之を買受け、小賣商にも現金の外前記の方法に依り掛賣を爲すも稀には小賣商との契約により每把守に分割して返濟の方法を取るもあり。小賣商が消費者に掛賣を爲したる時は每月末日に代金を回收するを常とするが如きも極めて亂雜にて殆んど有る時拂ひの催促なしの觀あり何時なりとも消費者の都合に依り支拂ふを例とし甚しきは翌の年末即ち決濟期に至るも支拂はざるものすら少からず

（二）南草（刻草）の卸商は之を各小賣商に配付し代金は每把守に領收す小賣商は消費者に對し現金賣買を主とするも双方合意の上掛賣を爲したる時は一定の返濟期日なく何時なりとも消費者の都合に依り勘定するものなりと云ふ。

（三）捲煙草製造業者は之を各卸商に賣出し、代金は支拂期間三十日乃至六十日間の約束手形を徵收するを常とするも現品の販賣せらるゝ都合に依り双方協議の上延期することあり、卸商が小賣商に對する掛賣代金は信用取引にして其日々々の夕方に收入し通帳を用ひたる分は每月末日を以て計算期日と爲す、地方の商人には約束手形一箇月以內の支拂期間のものを徵することあり、延取引の爲め勘定額に殘高を生ずる場合は其年末に決濟す小賣商が消費者に對する掛賣代金は每月末に計算する習慣なれども不確なり

二、內地人と鮮人との取引方法

內地人に對する掛賣は支拂期間一箇月以上二箇月以內の約束手形に依り場合に依りては約定の保證金を差入れ每月現在品の數量を商品主に於て檢查することあり然れども如斯きは最も信用の輕き者に限り行はるる取引にして一般に於ては然らず

三、外國人と鮮人との取引方法

現今は外國人と直接取引を爲すこと少なく稀に取引するも全部現金取引なり

▲材木商

一、鮮人間の取引方法

卸商の小賣商に對する取引は現金を主とし十分信用を有する商人に限り掛賣を爲すこともあるも必らず約束手形を以てし其期間一箇月以內とす

小賣商の消費者に對する現金賣にして極めて少數の信用取引代金は每月末に回收す然れども消費者の都合に依り之を延滯して翌年末に決濟する者多きが如し（消費者の主なる者は大工組、築請負者等なり）

二、內地人と鮮人との取引方法

內地人とは現金取引にして掛賣は全然之を爲さざる例なり然れども止むを得ざる場合に於て掛賣を爲すとあれば必らず約束手形を差入れしむ其期限一箇月以內なり

三、外國人と鮮人との取引方法

外國人とは別に取引を爲すことなく小賣商と消費者との間に於ける賣買あるも之は全部現金取引なり

▲舊藥商（漢藥）

一、鮮人間取引方法

卸商は卸賣、小賣を兼業するものにして別に卸商專門者又は小賣商專門者と區別するに足るものなし

當地藥種商は同業者に限り二箇月間の期限を以て信用に依り掛賣を爲すことあり若し右期間を超ゆる時は第三箇月目より全部の代金を決濟する迄每月二分の利子を徵す。

消費者に對する取引は九割以上掛賣にして每月末なりとて別に取立つることなく一年間を其儘放置して陰曆年末に至り之を決濟す又藥令と稱して每年四月一日より同末日迄（春令）十二月一日より同末日迄（秋令）の二回に臨時藥種商市場を開くことあり（市場を開く地方は大邱、大田、晋州、忠州なり）此の時期に至れば當地に於ける重なる藥種商は必らず出張して商賣する例なるが此時に於ける取引方法も前記と同樣にして稀に爲替を使用することあり其支拂期間は三箇月間を普通とす

二、內地人と鮮人との取引方法

內地の商人が支那より輸入したる甘草、桂皮、附子等を當地に移出することあるが故に往々取引を爲す此の時には現金拂を普通とし信用を有する商人に限り二箇月間の期限を以て集金爲替に依り勘定す

三、外國人と鮮人との取引方法

唐材と稱する貴重なる藥品を支那より直輸入することありしが現今は當地に居住する支那の商人に委託して購入す此の掛金に對しては主として爲替を使用し手形を振出すこと少なし期間は何れも三箇月間にして高價のものに限り每把守に計算す

▲洋藥商

一、鮮人間の取引方法

卸商の小賣商に對する掛賣は一箇月の期間を以て信用取引を爲すも之が期限內に勘定する者少なく小賣商其者の都合に依り時期に拘はらず掛金の一部又は全部を計算するものにて一年間に亘るも勘定未濟のもの多きを免れず

一般消費者に對する掛賣は每月末決濟の例なるも事實に於ては陰曆年末に計算しつゝあり

二、內地人と鮮人の取引方法

內地人とは通帳を使用して取引を爲し每月末に回收す、內地へ直接注文する時は現金又は双方の契約に依り六十日間以內の期限を以て掛取引することあり

三、外國人と鮮人との取引方法

外國人には消費者に對し少數の現金取引のみなり

祝三千號記念
朝鮮運輸一般取扱
日本各線連帶取扱
南滿線連帶取扱
京城南大門驛前
協同組運送店
電話一七九六番 一四三
本店 仁川海岸町
支店 平壤大和町
出張所 龍山、元山

祝三千號記念
京城明治町
京城競賣株式會社
電話七八四番

祝三千號記念
活版石版和洋帳簿製造
京城旭町一丁目
NA
中嶋印刷所
電話二千百八番
振替京城二百二番

祝三千號記念
京城府漢江通
寫眞師 畠田玉川堂
技術正確迅速叮寧
電話三五九番

祝三千號記念
京釜線芙江
吉原治三郎

祝三千號記念
銘酒 金賞 多喜正宗 一悅
販賣元
灘屋
龍山漢江通
電話三三一番

祝三千號記念
京城府漢江通
菓子 食料品 雜貨商
山田商店
電話五二七番

축삼쳔호긔렴
동양포경쥬식회사

祝三千號記念
仁川新町
活動寫眞常設館
瓢館
館主 清水周藏
電話四一〇番

祝三千號記念
會席御料理
仁川新町 奴亭本店 電話三三〇番
仁川宮町 奴亭支店 電話五四〇番

祝三千號記念
三井物產會社特約店
英國製ダイナマイト
砲兵工廠製坑山火藥
卸商 共
共榮社
仁川仲町一丁目
長電話七五番

祝三千號記念
阿波國共同汽船株式會社
芝罘政記公司
青島岩城商會船舶部
代理店
一般內外船舶取扱
沈沒汽船解體事業
並に救助事業
仁川本町一丁目
山下回漕店
稅關構內荷捌部
電話一〇八番
電話（ヤマ）八〇（ヤマ）
電話五四二番

祝三千號記念
清酒 振天、双喜、正宗、平生、榮菊、友千鳥 發賣元
穀物貿易商
志
清酒釀造業
仁川
吉金喜三郎商店
電話七六四番
天安出張所
馬山出張所

祝三千號記念
ほまれ麥
滋養玄米發賣元
仁川本町二丁目
富山商店
電話二三番

光榮ある三月八日

學者の創製したる

美顔白粉

▲皆様と共に光榮耀く日を迎へて……

各宮家御用、女流美顔術大家、マリー、ルウ井ズ孃より

高貴の御料に奉るべきにつき謹製して上進あれ　との

有難き恩命に接しましたのは昨年の今月今日即ち大正四年三月八日でありました。學者の眞面目な熱心な研究で出來た美顔白粉は、御試驗の結果、日本に於る最善最良の白粉なる事がお分りになつて、特に御用命を賜つたのであります。爾來引續き美顔白粉ばかりが高貴の御料に召されるやうになりました。最も光榮ある記念すべき本日を迎へて、本舗は更めて紙上御禮の意を表し奉ると共に全國美顔白粉愛用家の御幸福を祈ります。

■尚、桃谷研究試驗部特製の新化粧液美顔ユーマー、新式薄化粧料白色美顔水、透明化粧料美顔水も其後御用命を辱なうし、桃谷研究部製品の優秀な事がお分りになりましたので引續き

クリーム　洗粉　頬紅　口紅　眉ズミ　香油

レークレーム　粉白粉　肌色白粉　ポマード　爪磨液　等の

各種化粧品の調製方をも命ぜられ、謹製して御用に應じて居ります。

▲生れつき色が白いやうな白さに附く白粉▼

◎名譽の美顔白粉を創製したる

桃谷研究試驗部

◎顧問　藥學博士　丹波敬三氏　醫學博士　山本淳二氏

◎主任　藥學士　桃谷幹次郎

◎專任　藥學士　小磯勝次郎　藥學士　齋藤銀助

陽春　柳さくら